

令和6年度
福祉除雪事業アンケート調査結果の概要
【主要項目】

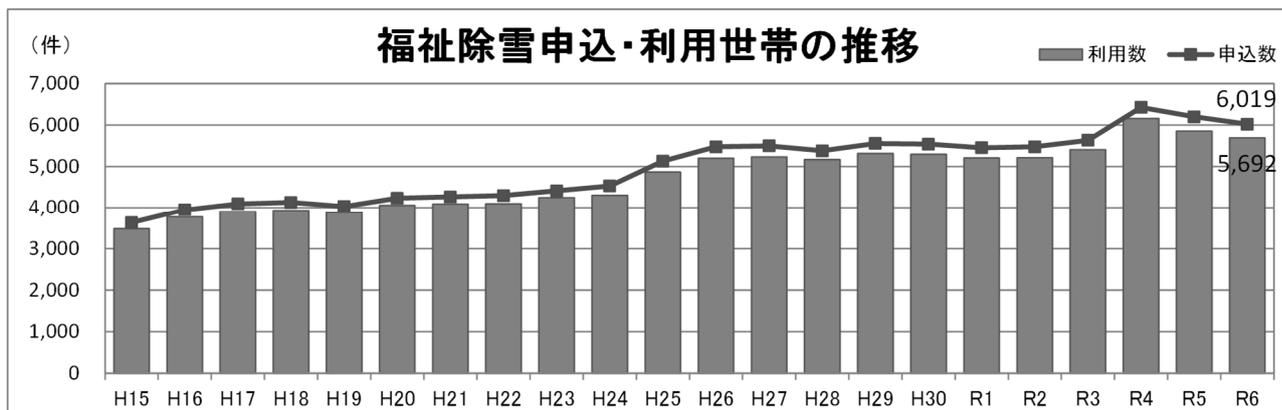
- I 活動状況
- II 利用世帯
- III 地域協力員
- IV 地域協力団体

令和7年6月

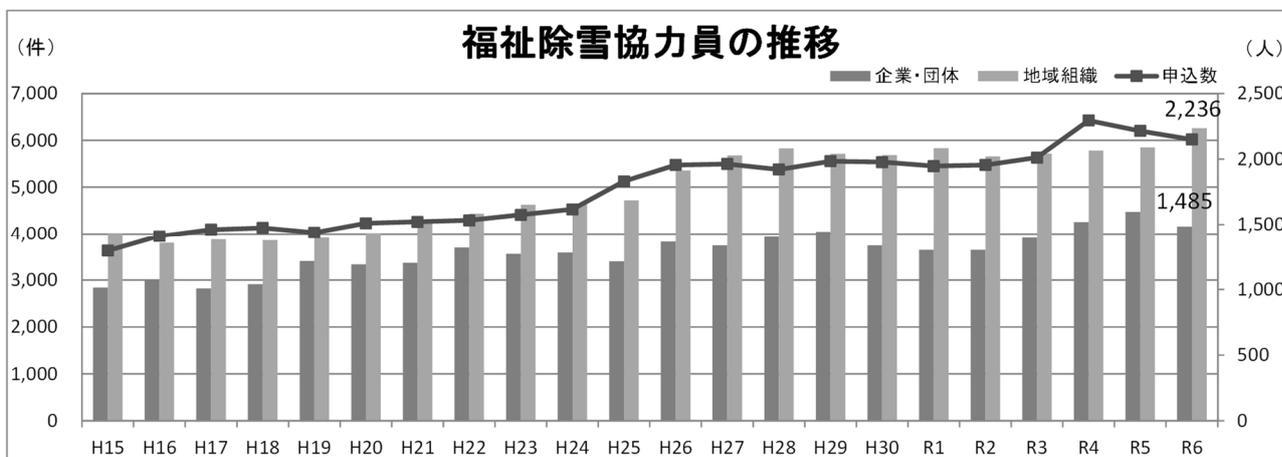
札幌市社会福祉協議会
地域福祉課

I 活動状況

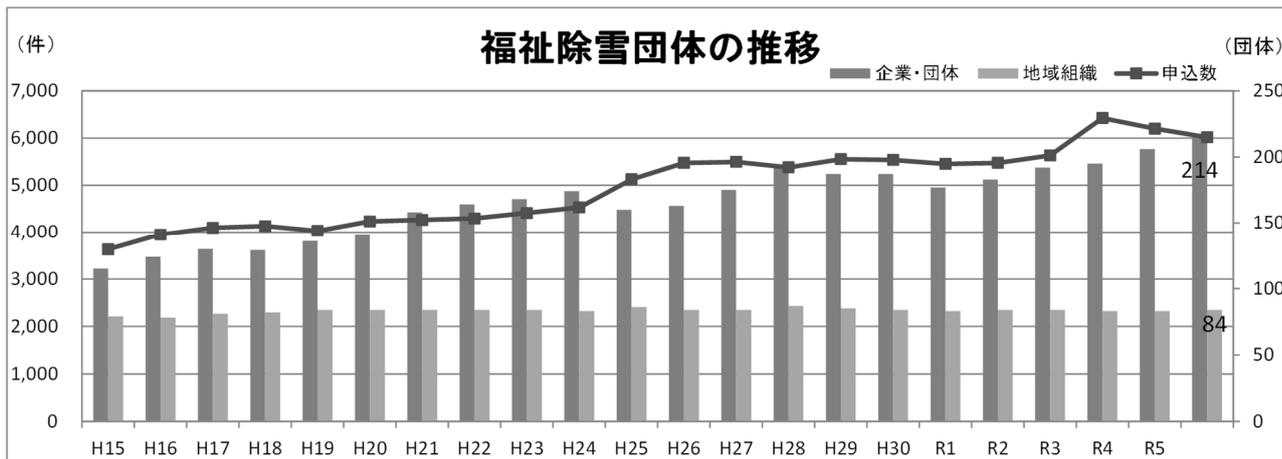
(1) 利用世帯



(2) 地域協力員



(3) 地域協力団体



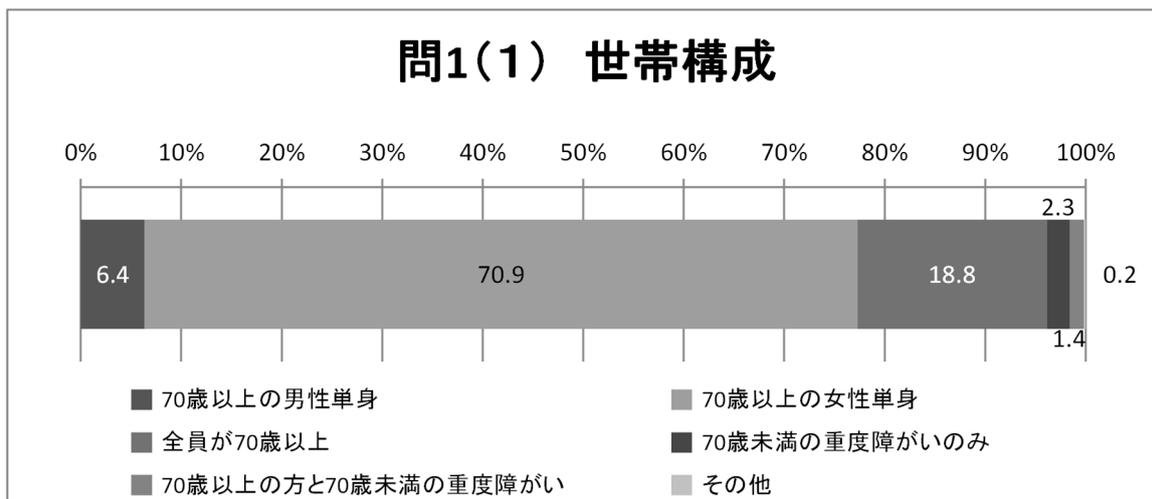
- * 各グラフの申込数および福祉除雪申込・利用世帯の推移の利用者数に冬季支援世帯の件数は含まない。
- * 各回答の百分率は小数第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。
- * 利用世帯における申込数と利用数の差は、非該当(利用条件に合致せず利用不可となった世帯)や辞退(申込後、事業開始前に申請を取り下げた世帯)によるものである。

II 利用世帯

利用世帯「5,692世帯」から「1,000世帯」を無作為抽出し、令和7年5月にアンケート調査を実施したところ、「688世帯」から回答があった。（回収率68.8%）。

1. あなたの世帯について 世帯構成【問1（1）】

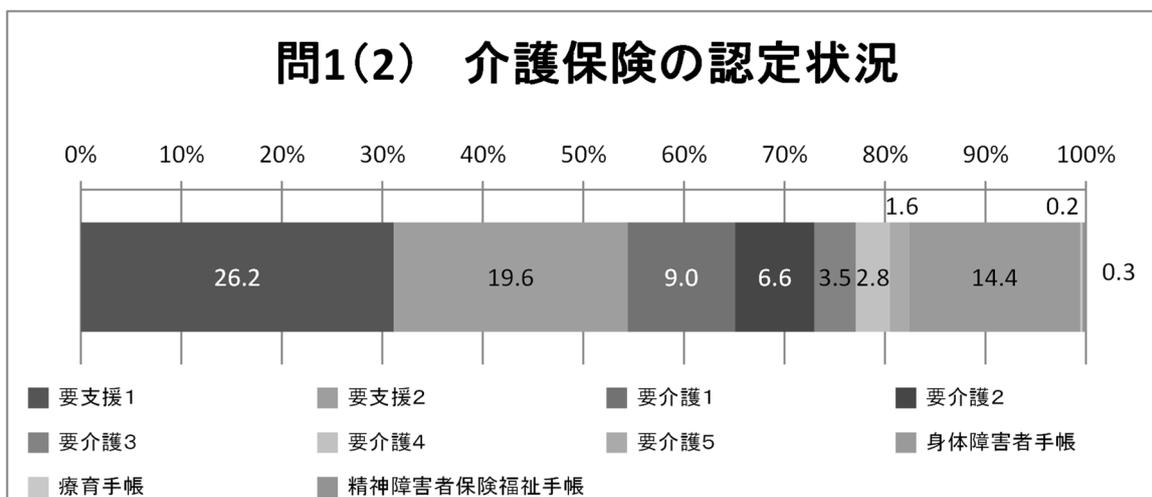
「70歳以上の女性単身世帯」が70.9%と最も高い。また、「全員が70歳以上の世帯」の18.8%と「70歳以上の男性単身世帯」の6.4%を合わせると96.1%となり、利用世帯のほとんどが『70歳以上のみの世帯』となっている。



	70歳以上の男性単身	70歳以上の女性単身	全員が70歳以上	70歳未満の重度障がいのみ	70歳以上の方と70歳未満の重度障がい	その他	全体
R6	6.4%	70.9%	18.8%	2.3%	1.4%	0.2%	100.0%
R5	5.6%	66.3%	22.5%	1.5%	2.8%	1.3%	100.0%

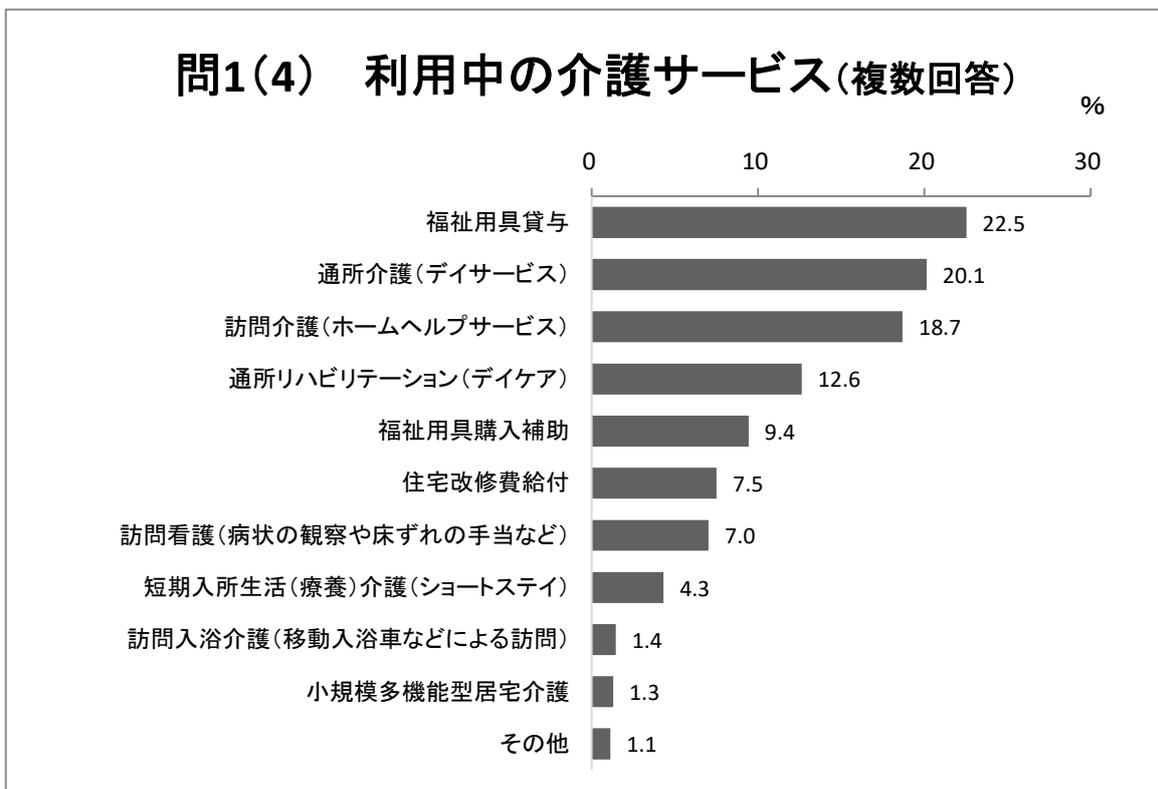
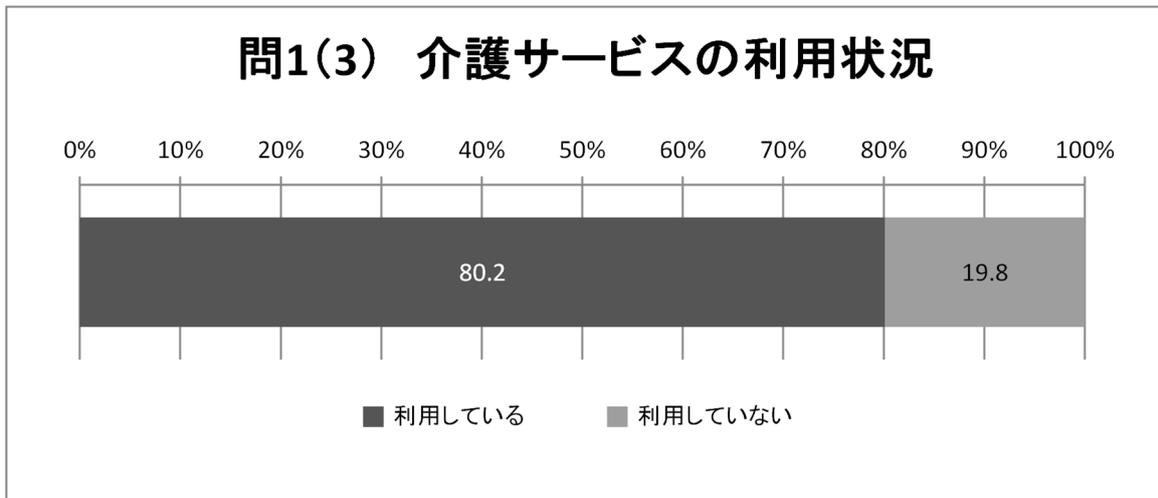
介護保険の認定状況【問1（2）※問1（1）で70歳以上の方が居ると回答した人】

介護「要支援1」が26.2%と最も高く、次いで「要支援2（19.6%）」、「身体障害者手帳（14.4%）」の順となっている。



利用中の介護サービス【問1(3)、問1(4)】

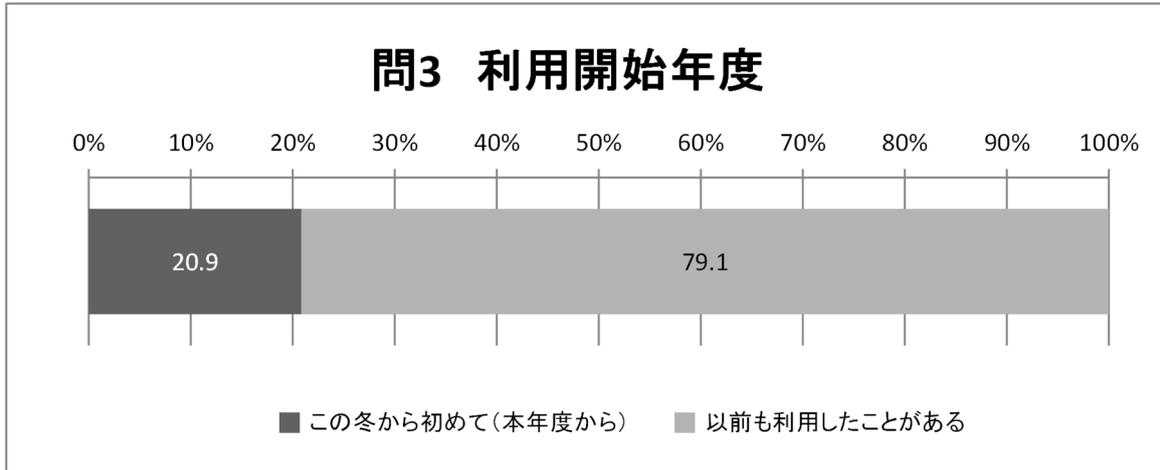
福祉除雪利用者の約8割が「介護サービス」を利用している。なかでも、「福祉用具貸与(22.5%)」、「通所介護(デイサービス)(20.1%)」、「訪問介護(ホームヘルパー)(18.7%)」の回答の割合は、いずれも約2割であった。



2. 「福祉除雪」の利用について

(1) 利用開始年度【問3】

「この冬から初めて」が20.9%と、新規利用者は約2割となっている。
また、前年度と比較すると「以前も利用したことがある」が1.7ポイント上昇している。

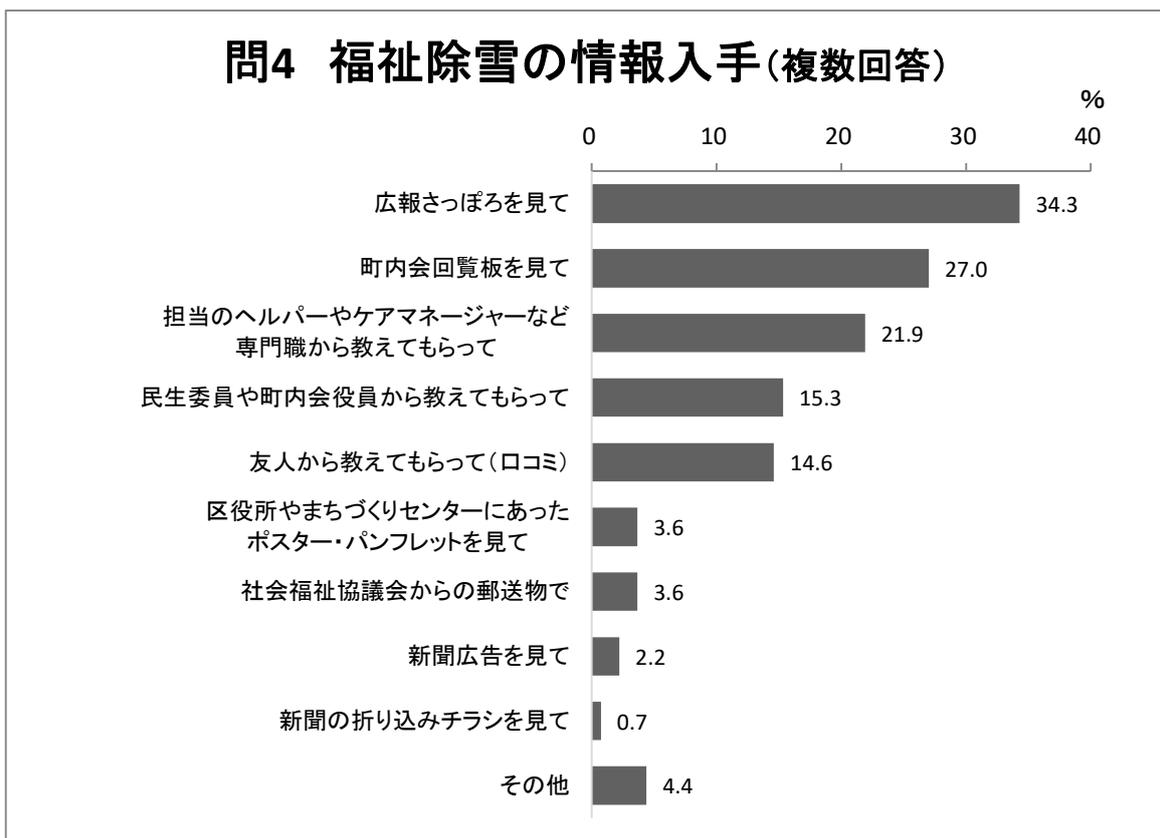


	この冬から初めて (本年度から)	以前も利用したこと がある
R6	20.9%	79.1%
R5	21.8%	77.5%

(2) 福祉除雪を知ったきっかけ【問4 ※問3で「1この冬から初めて」を選んだ人】

「広報さっぽろを見て」の34.3%が最も高く、次いで「町内会回覧板を見て(27.0%)」、「担当のヘルパーやケアマネージャーなど専門職から教えてもらって(21.9%)」の順となっている。

昨年度多く見受けられた「広報さっぽろ」と「口コミ」は、いずれも6.6ポイント減少している。一方で、「町内会回覧板」「担当のヘルパーやケアマネージャーなど専門職から教えてもらって」「新聞の折り込みチラシを見て」は、ポイントが増加している。

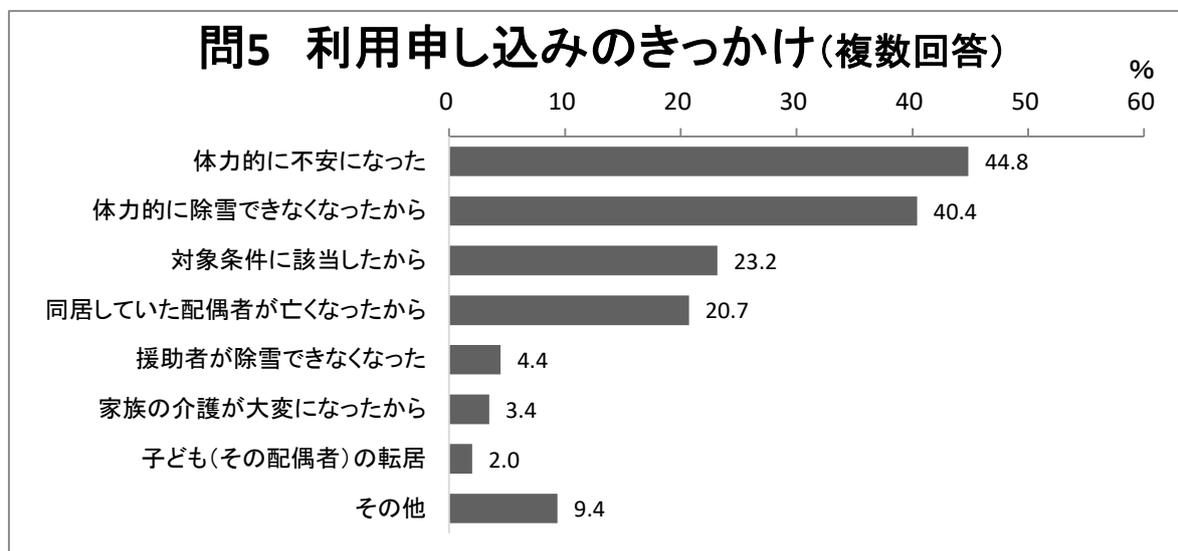


	R6	R5
広報さっぽろを見て	34.3%	40.9%
町内会回覧板を見て	27.0%	25.5%
担当のヘルパーやケアマネージャーなど専門職から教えてもらって	21.9%	18.2%
民生委員や町内会役員から教えてもらって	15.3%	15.3%
友人から教えてもらって（口コミ）	14.6%	21.2%
区役所やまちづくりセンターにあったポスター・パンフレットを見て	3.6%	8.0%
社会福祉協議会からの郵送物で	3.6%	8.8%
新聞広告を見て	2.2%	4.4%
新聞の折り込みチラシを見て	0.7%	1.5%
その他	4.4%	7.3%
フリーペーパー（ふりっぱー等）を見て	-	2.9%

（３）利用開始のきっかけ【問５ ※問３で「１この冬から初めて」を選んだ人】

「体力的に不安になった（44.8%）」、「体力的に除雪できなくなった（40.4%）」など、『体力的な問題』で利用を開始した人が多く見受けられた。

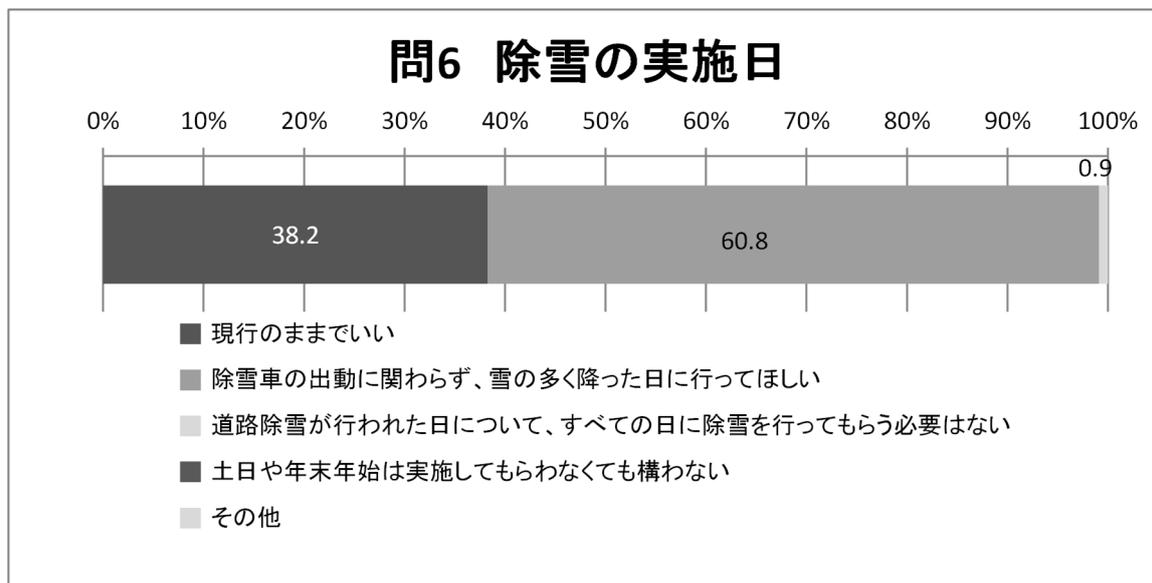
一方、前年度と比較すると、全ての項目で減少しており、特に「体力的に不安になった」は14.0ポイント減少している。



	R6	R5
体力的に不安になった	44.8%	58.8%
体力的に除雪できなくなったから	40.4%	46.6%
対象条件に該当したから	23.2%	27.5%
同居していた配偶者が亡くなったから	20.7%	24.4%
援助者が除雪できなくなった	4.4%	6.9%
家族の介護が大変になったから	3.4%	-
子ども(その配偶者)の転居	2.0%	3.8%
その他	9.4%	2.3%

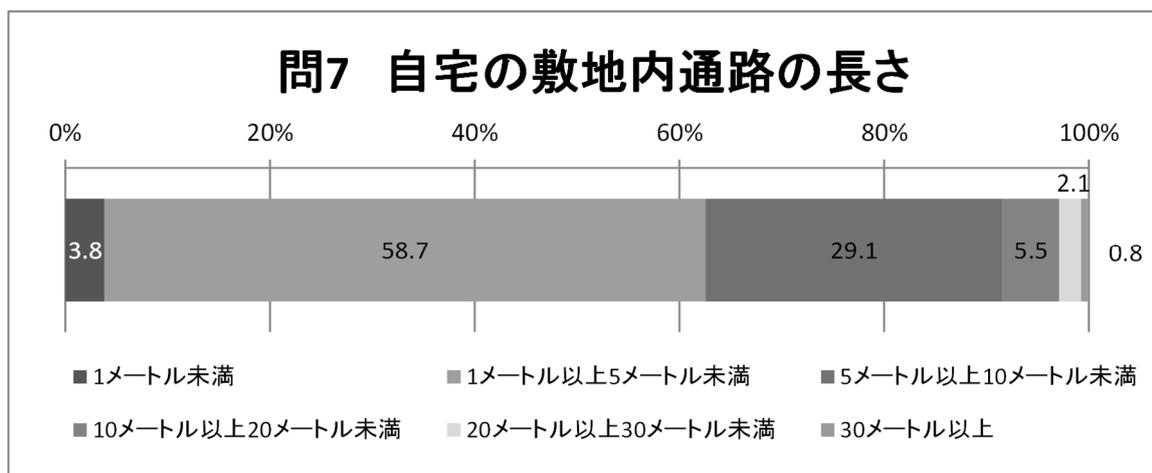
(4) 除雪の実施日【問6】

「除雪車の出動に関わらず、雪の多く降った日に行ってほしい」の割合が最も高く、60.8%であった。一方、「現行のままでいい」は、38.2%であった。



(5) 自宅の敷地内通路の長さ【問7】

「1メートル以上5メートル未満」の割合が最も高く58.7%、次いで「5メートル以上10メートル未満」が29.1%と、『10メートル未満』が9割を超えている。



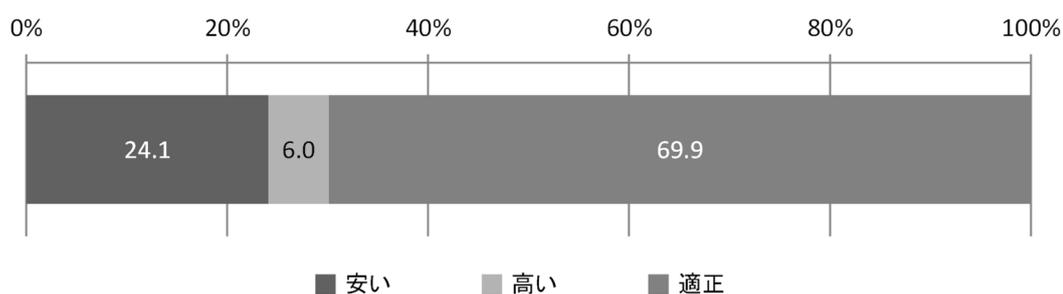
(6) 利用負担金額の評価等【問8（1）、問8（2）、問8（3）、問8（4）】

負担金額の区分別順位は、「非課税世帯」が71.3%と最も高く、次いで「課税世帯（27.1%）」、「生活保護世帯（1.7%）」となっている。また、前年度と比較すると、「無料」「課税世帯」の割合が減少し、「非課税世帯」の割合は増加している。

利用負担金額の評価では、「適正」が69.9%と、約7割が妥当な金額と評価している。また、「安い（24.1%）」は、前年度に比べて2.9ポイント増加している。

	10,000円 (課税世帯)	5,000円 (非課税世帯)	無料 (生活保護世帯)	全体
R6	27.1%	71.3%	1.7%	100.0%
R5	27.6%	70.3%	2.1%	100.0%

問8(2) 利用負担金額の評価



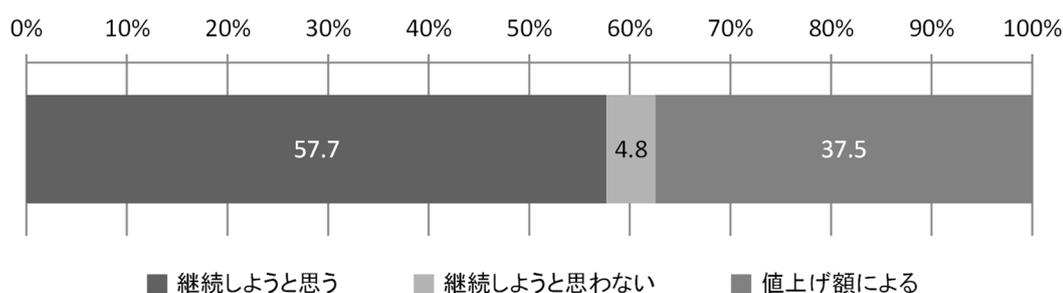
	安い	高い	適正	全体
R6	24.1%	6.0%	69.9%	100.0%
R5	21.2%	6.8%	72.0%	100.0%

課税世帯・非課税世帯別に、負担金額の各区分における利用負担金額の評価をみると、課税世帯・非課税世帯ともに「適正（課税世帯 70.2%、非課税世帯 69.8%）」の割合が最も高かった。

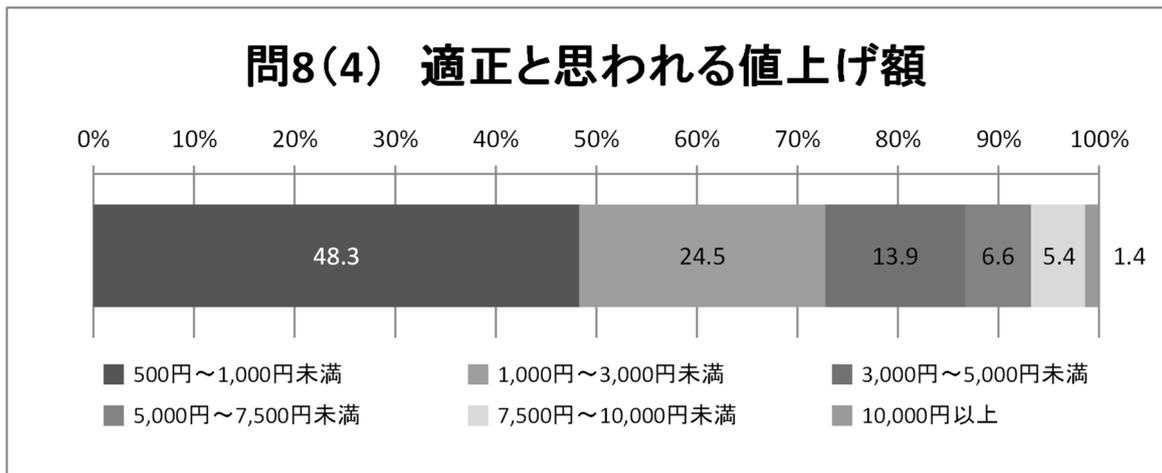
	安い	高い	適正	全体
10,000円 (課税世帯)	17.9%	11.9%	70.2%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	26.4%	3.8%	69.8%	100.0%

値上げ後の継続利用の意向について聞いたところ、「継続しようと思う」の割合が最も高く 57.7%であった。一方で、「値上げ幅による」の割合は 37.5%と、約 4 割が値上げ額によって検討すると回答している。

問8(3) 値上げ後の継続利用意向



また、問8（2）で「高い」または「安い」と回答した方に負担額の適正と思われる値上げ額を聞いたところ、「500円～1,000円未満」の割合が最も高く48.3%、次いで「1,000円～3,000円未満」が24.5%と、約7割の方が『3,000円未満』が適正と思われると回答している。



適正と思われる値上げ額を課税世帯・非課税世帯別にみると、いずれも「500円～1,000円未満」(課税世帯35.0%、非課税世帯53.3%)の割合が最も高かった。

	500円～1,000円未満	1,000円～3,000円未満	3,000円～5,000円未満	5,000円～7,500円未満	7,500円～10,000円未満	10,000円以上	全体
10,000円(課税世帯)	35.0%	29.9%	19.0%	4.4%	8.8%	2.9%	100.0%
5,000円(非課税世帯)	53.3%	22.4%	12.0%	7.4%	4.1%	0.8%	100.0%

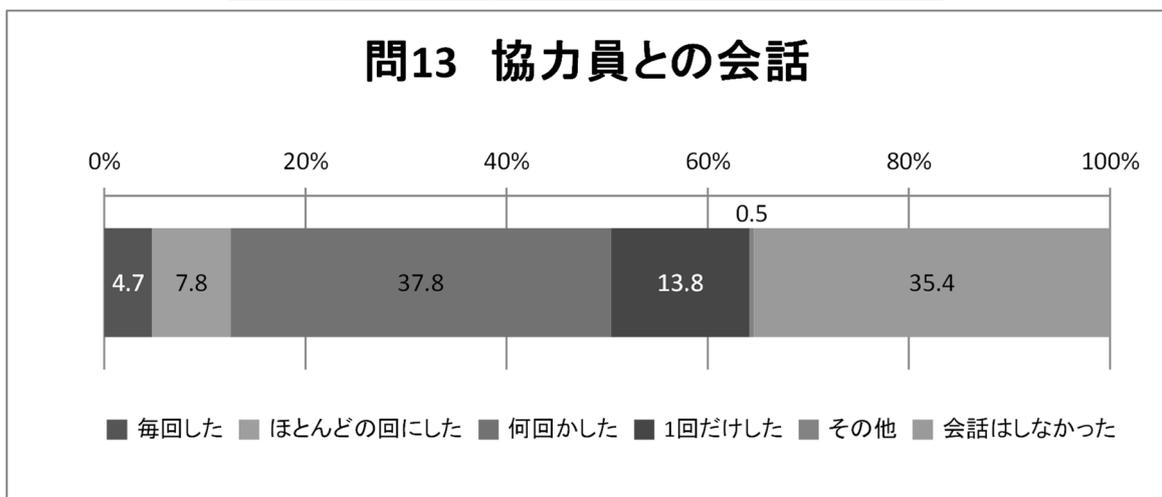
(5) 担当の地域協力員【問12、問13】

担当の地域協力員は、「近所の人だった」が52.0%と最も割合が高かった。

協力員との会話については、「毎回した(4.7%)」、「ほとんどの回にした(7.8%)」、「何回かした(37.8%)」を合わせると50.3%となり、約半数を占めている。

一方、協力員が早朝に作業していたなどの理由から、「会話はしなかった」と回答した割合は35.4%であった。

	近所の人だった	近所の人ではなかった	近所の方がわからない	全体
R6	52.0%	9.6%	38.4%	100.0%
R5	53.7%	6.9%	39.4%	100.0%

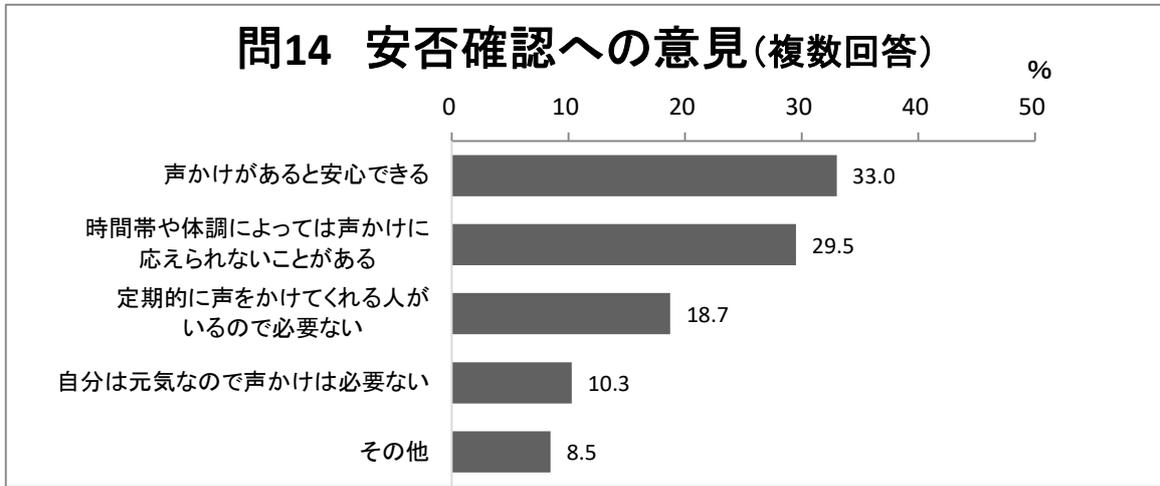


	毎回した	ほとんどの回にした	何回かした	1回だけした	その他	会話はしなかった	全体
R6	4.7%	7.8%	37.8%	13.8%	0.5%	35.4%	100.0%
R5	4.5%	9.3%	35.3%	15.1%	5.0%	30.9%	100.0%

(6) 地域協力員による声かけ（安否確認）【問14】

「声かけがあると安心できる」が 33.0%と最も高く、次いで「時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある (29.5%)」であった。

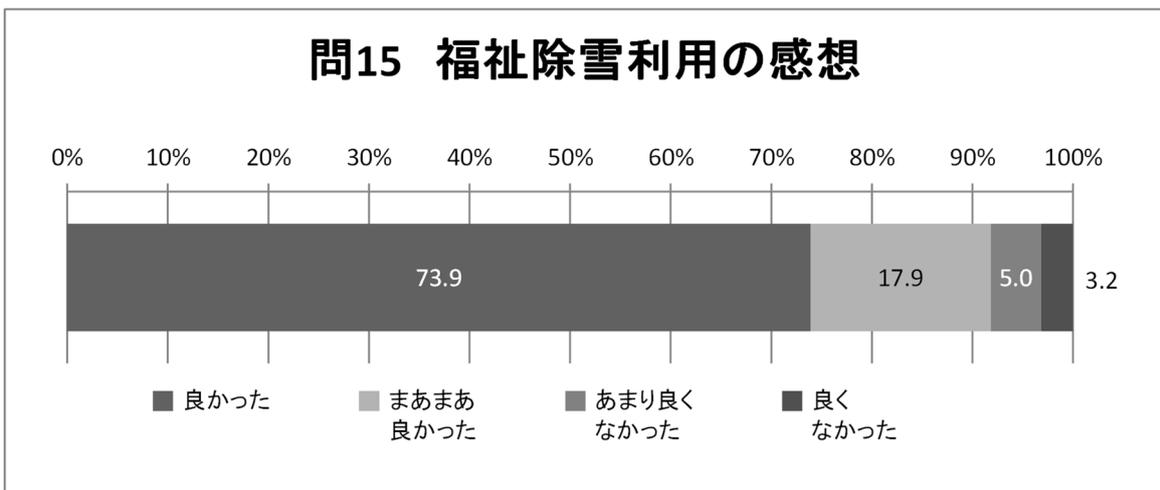
一方、「定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない (18.7%)」、「自分は元気なので声かけは必要ない (10.3%)」など、『声かけは必要ない』とする回答や、「その他」には『除雪作業以上の負担をかけたくない』『早朝作業のため会ったことがない』などの回答も見受けられた。



	R6	R5
声かけがあると安心できる	33.0%	28.1%
時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある	29.5%	33.6%
定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない	18.7%	18.4%
自分は元気なので声かけは必要ない	10.3%	10.7%
その他	8.5%	9.2%

(7) 福祉除雪利用の感想【問15】

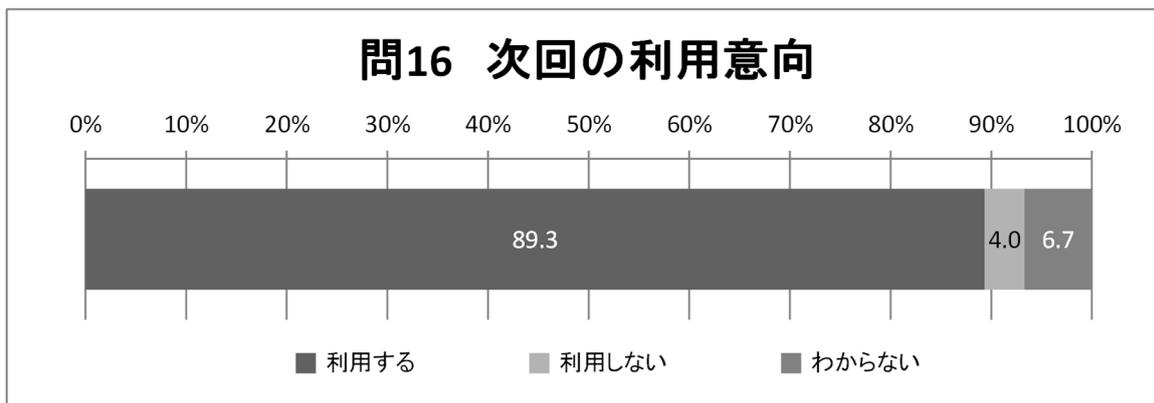
「良かった (73.9%)」、「まあまあ良かった (17.9%)」を合わせると、全体の約9割が『福祉除雪を利用して良かった』と感じている。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	全体
R6	73.9%	17.9%	5.0%	3.2%	100.0%
R5	70.3%	18.7%	8.6%	2.4%	100.0%

(8) 次回の利用意向【問16】

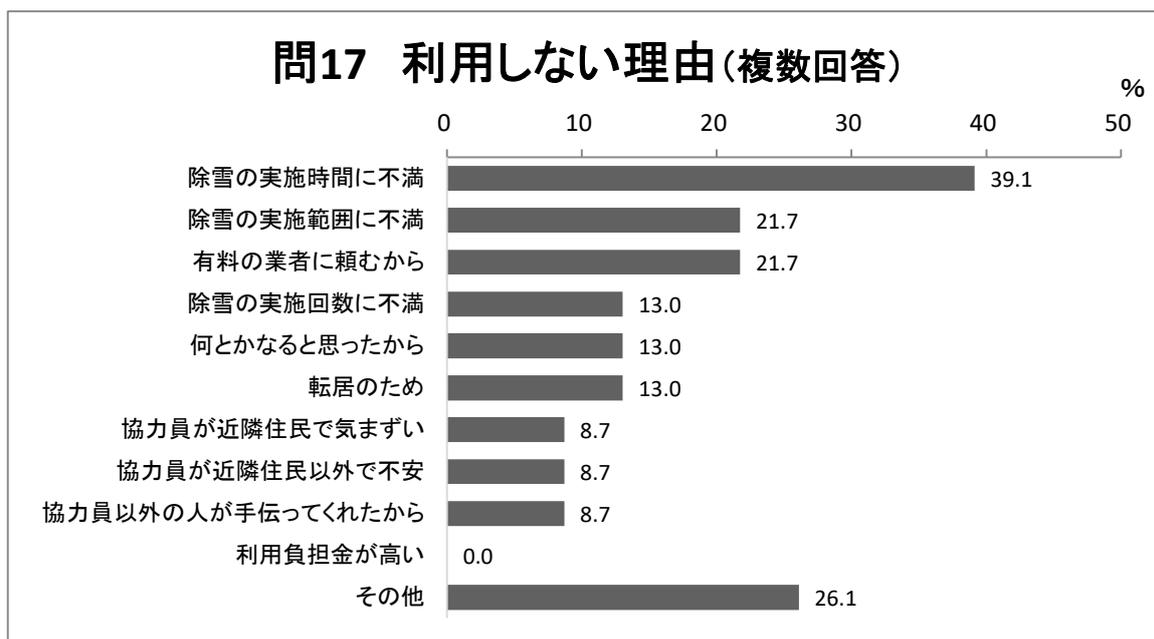
「利用する」が 89.3%と、約 9 割を占めている。また、前年度と比較すると「利用しない」が 0.5 ポイント、「わからない」が 1.2 ポイント増加している。



	利用する	利用しない	わからない	全体
R6	89.3%	4.0%	6.7%	100.0%
R5	91.0%	3.5%	5.5%	100.0%

(9) 継続利用しない理由【問17】

回答件数は 23 件と少なかったが、内訳としては「除雪の実施時間に不満」の割合が最も高く 39.1%、次いで「除雪の実施範囲に不満」「有料の業者に頼むから」（ともに 21.7%）、「除雪の実施回数に不満」「何とかなると思ったから」「転居のため」（いずれも 13.0%）の順となっている。



(10) 福祉除雪についての意見(改善点)【問18】

主な意見抜粋

回答者数合計 393件(無回答・「特になし」を除く)

項目	内容	件数
感謝・ 継続利用	やはり近所の人に来てくれるととても安心だし、色々話も出来て助けてもらう事が出来ると。まだこの制度を知らない人があるので、町内の人々がもっと高齢者に制度の事を知らせて、皆が利用出来れば良いと思っている。	253
	福祉除雪金額申し込みの件、私の家から郵便局まではバスで行かなければならない距離です。昨年頃からコンビニで振込み出来、とても助かっております。	
	福祉除雪協力員の方には、早朝寒い中除雪をして頂きありがとうございます。自分の体調の悪い時等協力員の方へありがとうございますの言葉も伝えられず、大変失礼した日々もありましたが、今後も宜しくお願い致します。	
	主人が車イス生活です。前後で動きでなく、回れたら助かります。それでも皆様には感謝しております。今年も除雪ありがとうございます。	
除雪時間 や回数	お世話になっております。昨年迄は20cm以上降った日に福祉除雪を行って下さり、大変助かりました。今年は除雪車が出勤した日だけに行くという事で、大雪降っても行って下さいませんでした。電話を数回かけた事がありますが、その時は来て下さいましたが…。除雪車の出勤に関わらず、雪の多く降った日に行ってほしいです。	67
	雪が10cm以上降った日でも除雪車も来なく、除雪の人も来ない日が何回かあった。玄関の戸が開けられなくなると、地震などの災害の時に逃げる出口がないので不安な日もあった。夜にかけて家の中から、子供の小さいシャベルで何回も玄関が開くようにしたが心配でした。骨粗鬆症の骨折続き(三ヶ所ドミノ骨折、腰・背中3つ骨)になっていたため、自分で動いて雪かきが出来ない。市の福祉除雪には感謝しています。	
	体調悪化により令和5年、6年の2年実施期間の途中から福祉除雪を利用させて頂きました。令和5年は協力員の方が降雪の度に除雪して頂き感謝しました。令和6年は市の道路除雪が数回ありましたが、1回も来ません。これが2年間の実情です。	
改善・ 要望	町内会の方が除雪をして下さっていたので、除雪車の出勤に関わらず、雪の多く降った日に来て、雪が多く歩くのに困ると思い除雪して下さい大変助かりました。ただ、今年の日曜日大雪で除雪機を使っていましたが、インターロッキング(コンクリート)に機械の跡で傷がついてしまいましたがお世話に成ったので注意も出来ず困りました。どの程度なら弁償も可能なのか、本人には話しづらいです。その点ははっきりしていないのが不安です。	50
	除雪した雪を車の後に置かれる。除雪車の来る前に来る。それなのに、除雪車の置いて行った雪はよけてくれない。物置の前に雪を置く。	
	毎回、朝早く本当にすまないと思いました。お金を払えばいいというものではないが、もっと除雪代金をあげてやってほしいと思いました。	
除雪内容 に疑問	昨年度から利用しましたが、今年度の方はオレンジ色の紙に名前もなく、チェックもされずに時間だけあいまいに記入して郵便受けに入れるだけでした。朝のゴミ出し時間には間に合わず、どうにか自分で除雪して出た次第です。昨年度の協力員はこの様な事はありませんでした。担当者によって随分と差があると感じました。	20
	今年度の担当者のいい加減な作業には不満を押さえる事が出来ません。道幅80cmはおろか50cm弱しかありませんので、両横から雪が吹き込むと歩行が困難でした。その上、表面の雪だけさらっているため、残った雪は氷結し道はデコボコです。膝の手術後の体にとって転倒したら大変なのに、この様な除雪では依頼した意味がありません。因みに今冬の作業日は7回でした。	
除雪範囲	幅80cmではなく、高くなってもいいので幅を少し広げてほしい。そして沢山降った時に来てほしい。今は夜2時頃に来てくれますので、日中積もったら困ります。費用は問いません。無理ですか？	15
	除雪幅が80cmでは狭すぎ。却ってよろけて歩きづらい。幅を広げて利用せざるに出来ない。せめて1mにしてほしい。利用料金の意味なし。	
その他	ホームページ上で公開となっておりますが、スマホの扱い方が分からないのでアンケート結果も分かりません。	13
	福祉除雪の協力者には、どれ程の収入があるのか気掛かりなので承知しておきたい。	

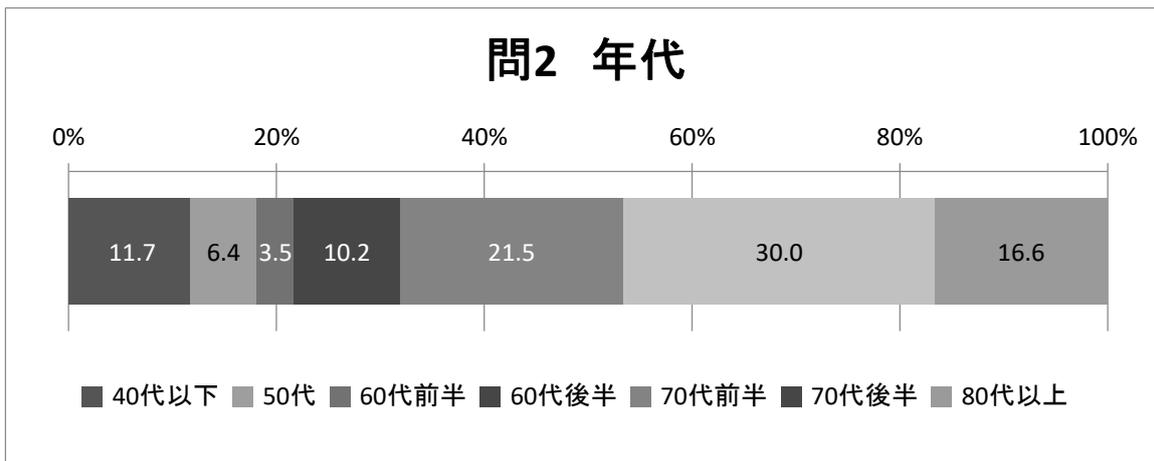
Ⅲ 地域協力員

地域協力員のうち、地域組織（主に利用者の近隣住民）の協力員（個人）「2,236人」の中から「1,000人」を無作為抽出し、アンケート調査を実施したところ、「740人」から回答があった。（回収率74.0%）

1. 自身のことについて

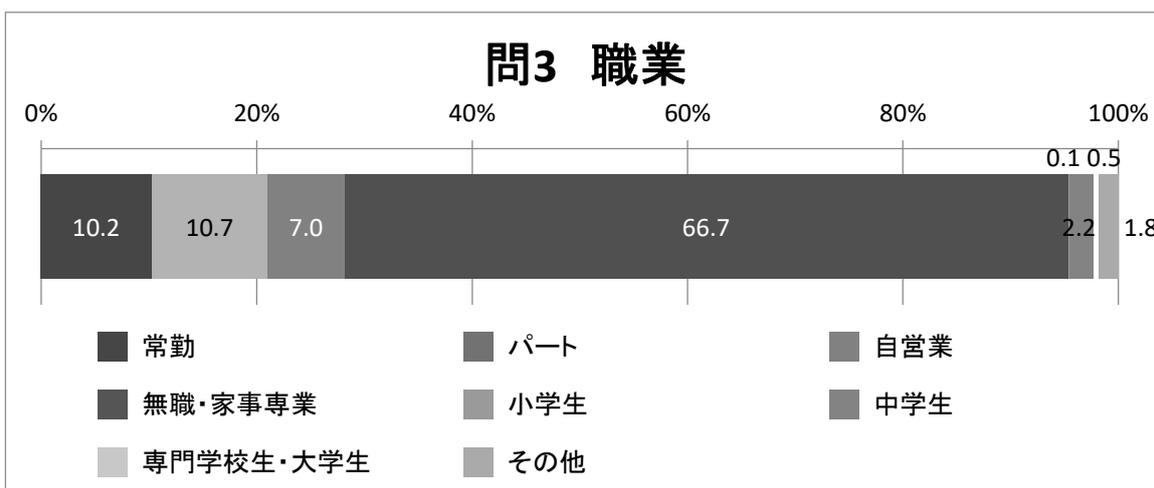
(1) 性別・年代【問1、問2】

性別は、「男性」が90.8%と約9割を占めている。年代は、『60代後半以上』が78.3%と約8割を占めている。また、前年度と比較すると、40代および70代後半、80代以上は増加しているが、それ以外の年代は減少している。



(2) 職業【問3】

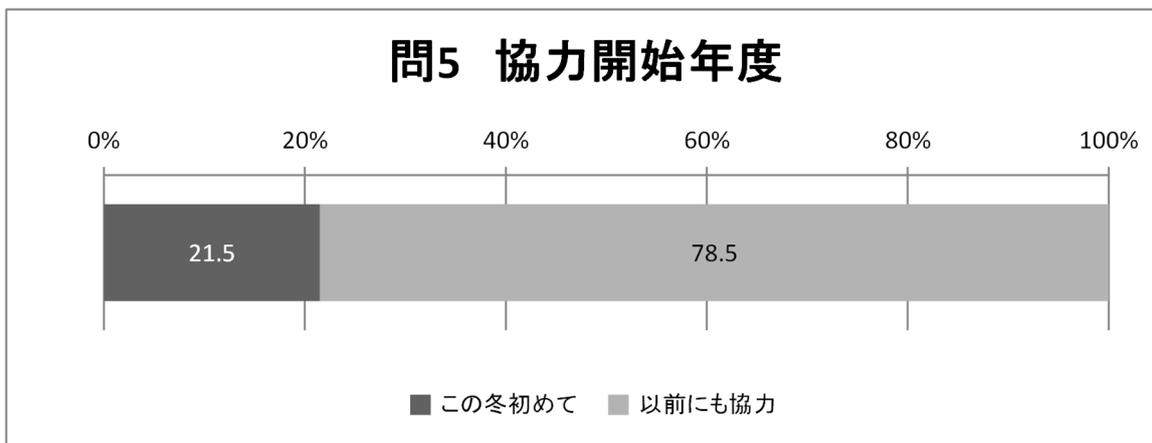
職業は、「無職・家事専業」が66.7%と約7割を占めている。また、前年度と比較すると、「常勤」は0.2ポイント、「無職・家事専業」は2.2ポイント増加しているのに対し、「パート」は0.3ポイント、「自営業」は1.9ポイント減少している。



	常勤	パート	自営業	無職・家事専業	小学生	中学生	高校生	専門学校生・大学生	その他	合計
R6	10.2%	10.7%	7.0%	66.7%	0.1%	2.2%	0.8%	0.5%	1.8%	100.0%
R5	10.0%	11.0%	8.9%	64.5%		3.3%			2.2%	100.0%

(3) 協力開始年度および福祉除雪情報の入手先【問5、問7】

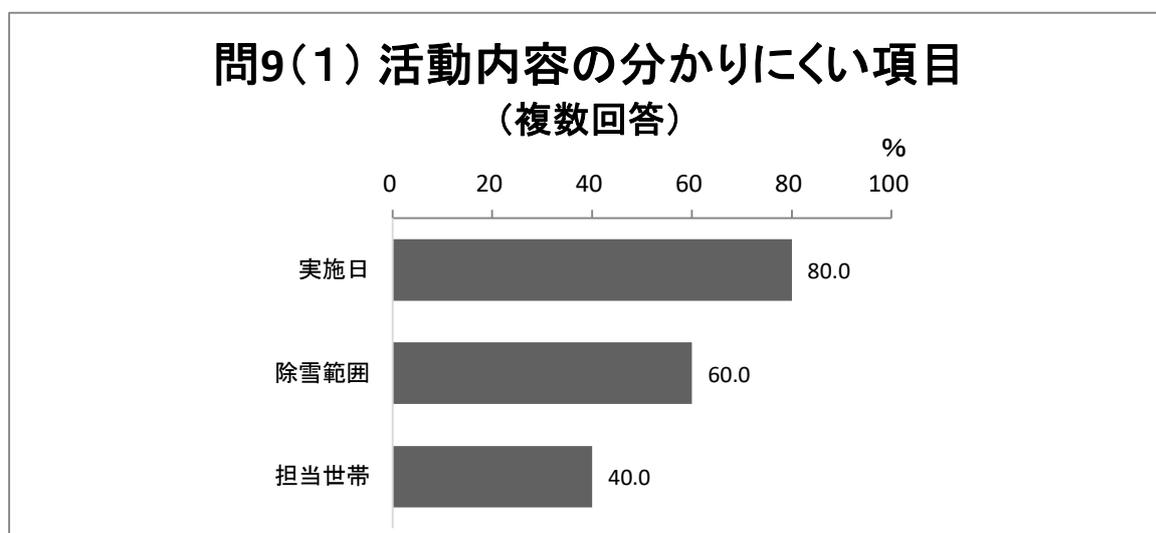
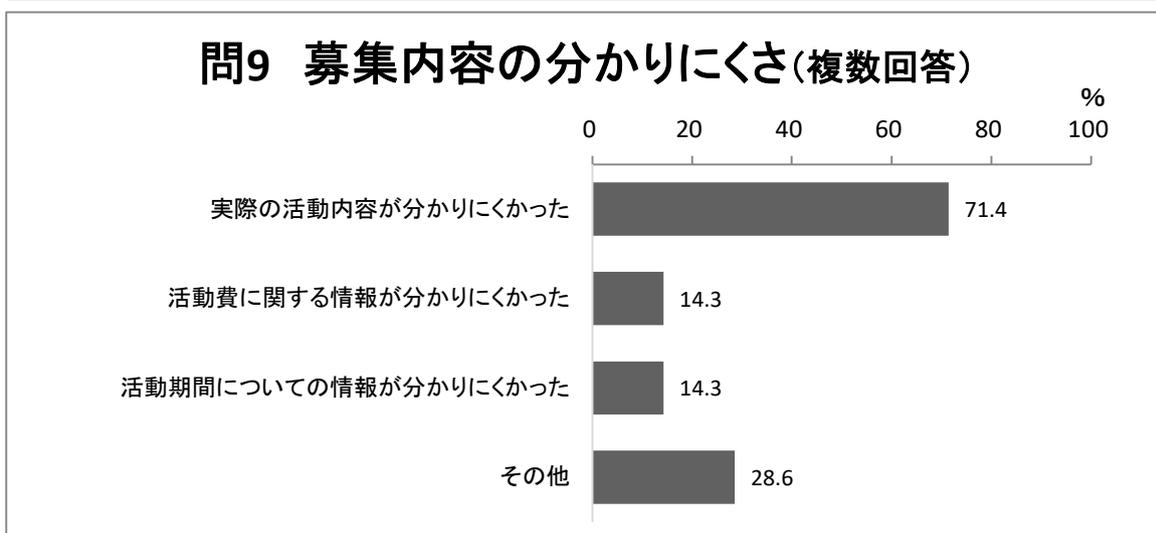
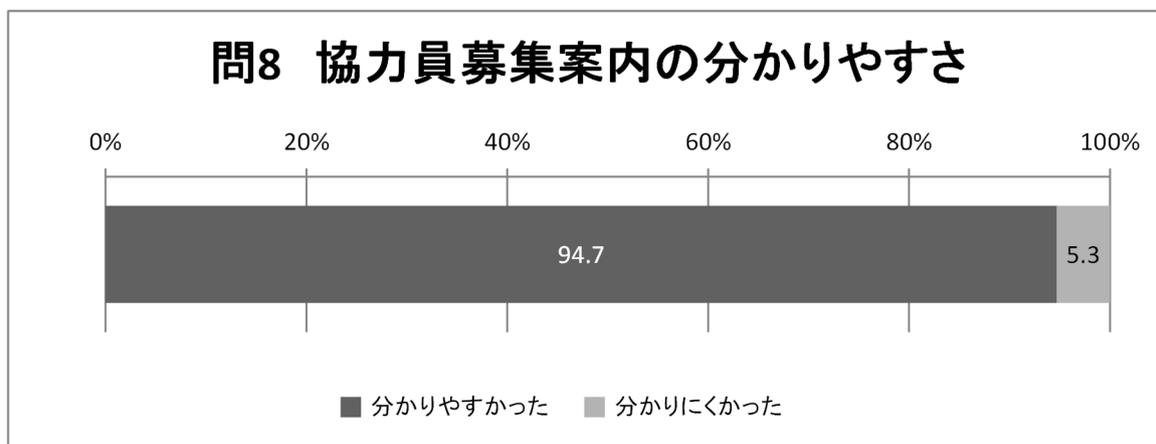
協力員としての活動開始時期について、「(令和6年度)以前にも協力していた」が78.5%と、約8割を占めている。また、「この冬から初めて(令和6年度から)」と回答した方に福祉除雪の情報の入手先を聞いたところ、「町内会回覧板を見て」の割合が最も高く29.6%、次いで「町内会役員や民生委員からの紹介(27.0%)」、「広報さっぽろを見て(21.1%)」の順となっている。



(4) 募集案内の分かりやすさ【問8、問9】

福祉除雪協力員募集の案内について、「分かりやすかった」が94.7%と、ほとんどの方が分かりやすかったと回答した。

一方、回答件数は7件と少なかったが、「分かりにくかった」と回答した方にどのような点が分かりにくかったかを尋ねたところ、「実際の活動内容が分かりにくかった」の割合が最も高く、71.4%であった。また、活動内容の分かりにくい項目としては、「実施日(80.0%)」、「除雪範囲(60.0%)」、「担当世帯(40.0%)」が挙げられた。

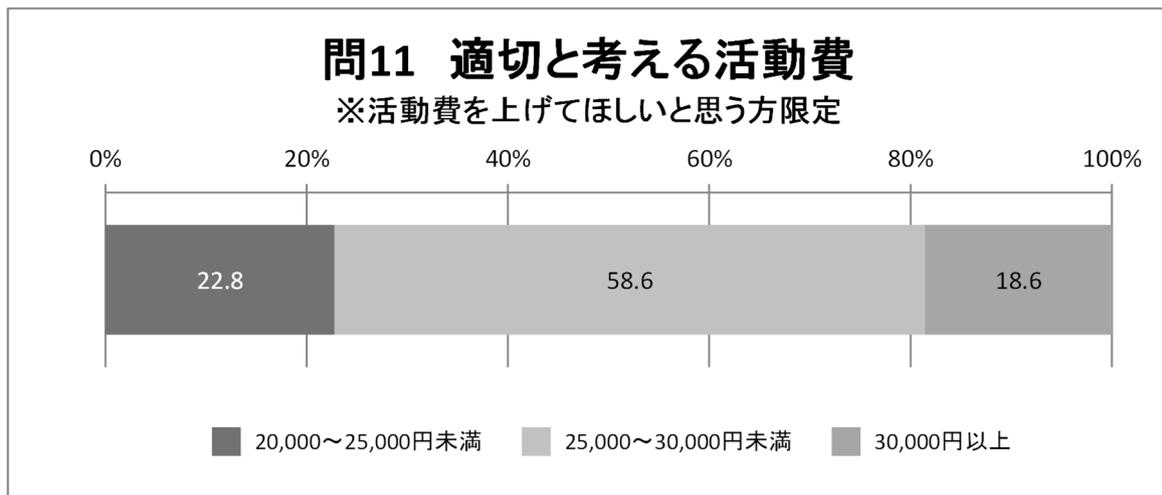
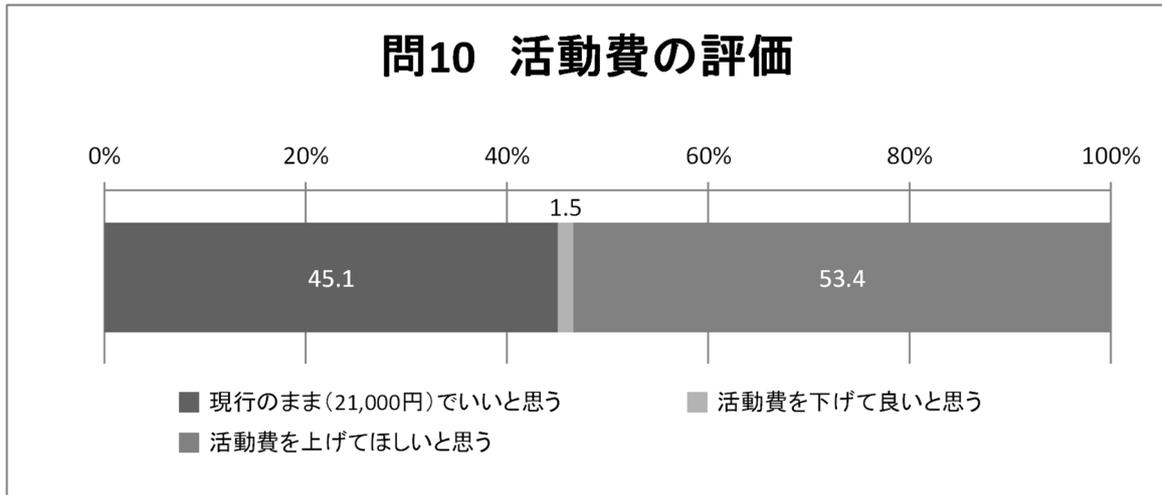


2. この冬の福祉除雪活動について

(1) 活動費の評価等【問10、問11】

「活動費を上げてほしいと思う」が53.4%、「現行のまま(21,000円)でいいと思う」が45.1%であった。

また、問10で「活動費を下げて良いと思う」または「活動費を上げてほしいと思う」と回答した方に適切と考える活動費を尋ねたが、そのうち「活動費を上げてほしいと思う」方の回答は「25,000円～30,000円未満」の割合が58.6%と最も高く、次いで「20,000円～25,000円未満(22.8%)」、「30,000円以上(18.6%)」であった。

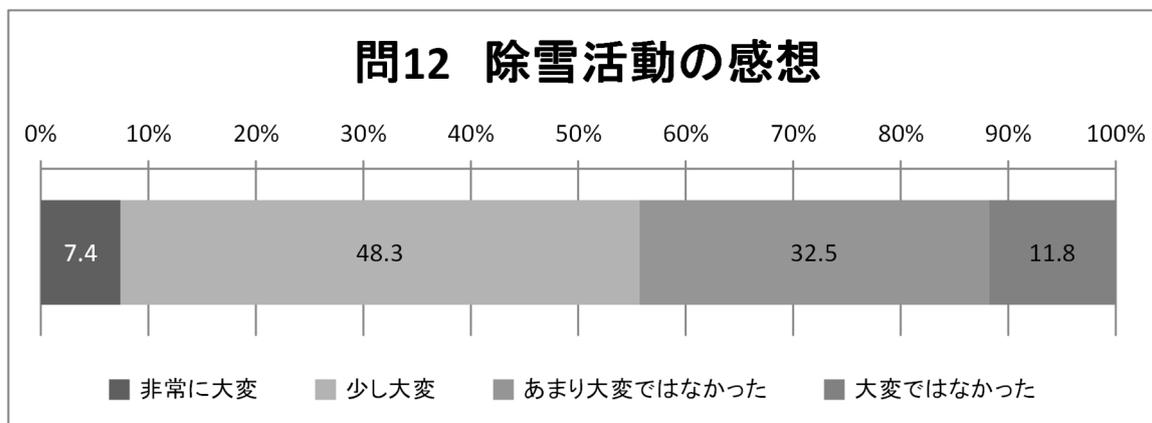


	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上	全体
活動費を下 げて良い	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
活動費を上 げてほしい	0.0%	22.8%	58.6%	18.6%	100.0%

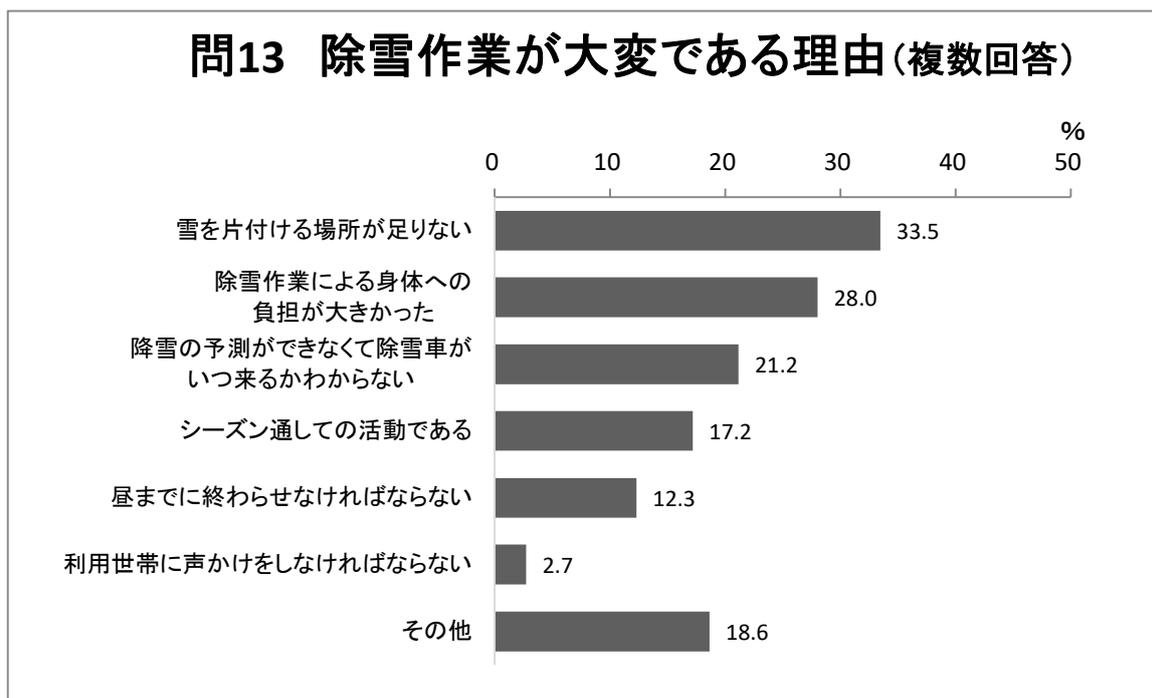
(2) 除雪活動の負担感【問12、問13、問15】

「少し大変 (48.3%)」「非常に大変 (7.4%)」と、約5割が大変であったと回答している。

「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片付ける場所が足りない (33.5%)」、「除雪作業による身体への負担が大きかった (28.0%)」「降雪の予測ができなくて除雪車がいつ来るかわからない (21.2%)」などが多く挙げられた。



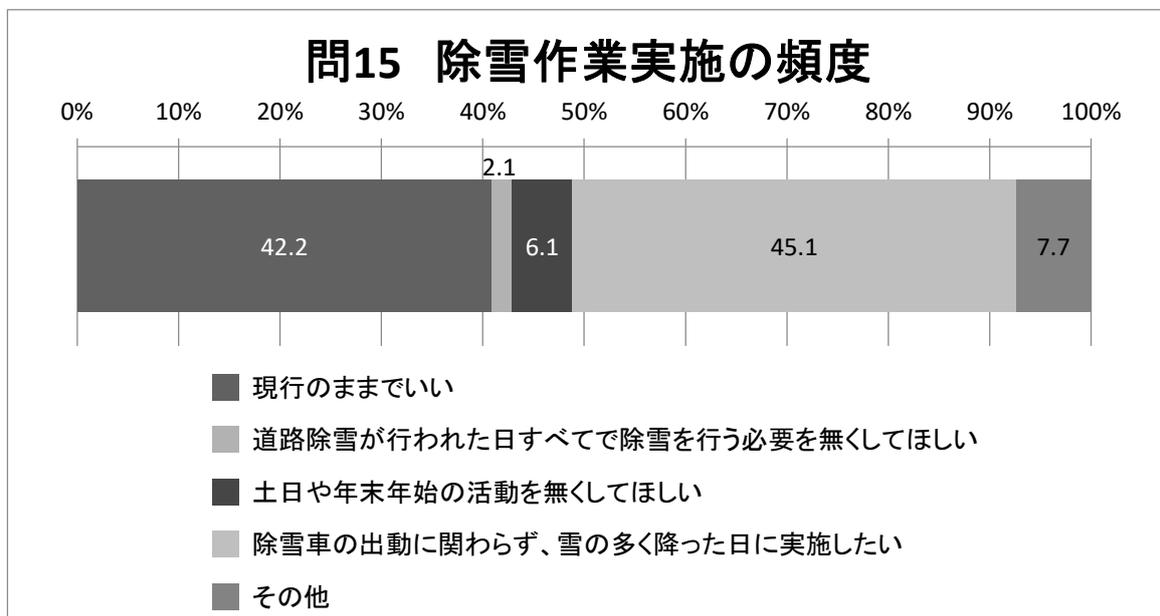
	非常に大変	少し大変	あまり大変ではなかった	大変ではなかった	全体
R6	7.4%	48.3%	32.5%	11.8%	100.0%
R5	15.2%	56.7%	23.0%	5.1%	100.0%



また、「適切と考える活動費（問11）」別にみると、いずれの項目においても「25,000円～30,000円未満」が最も多く挙げられた。

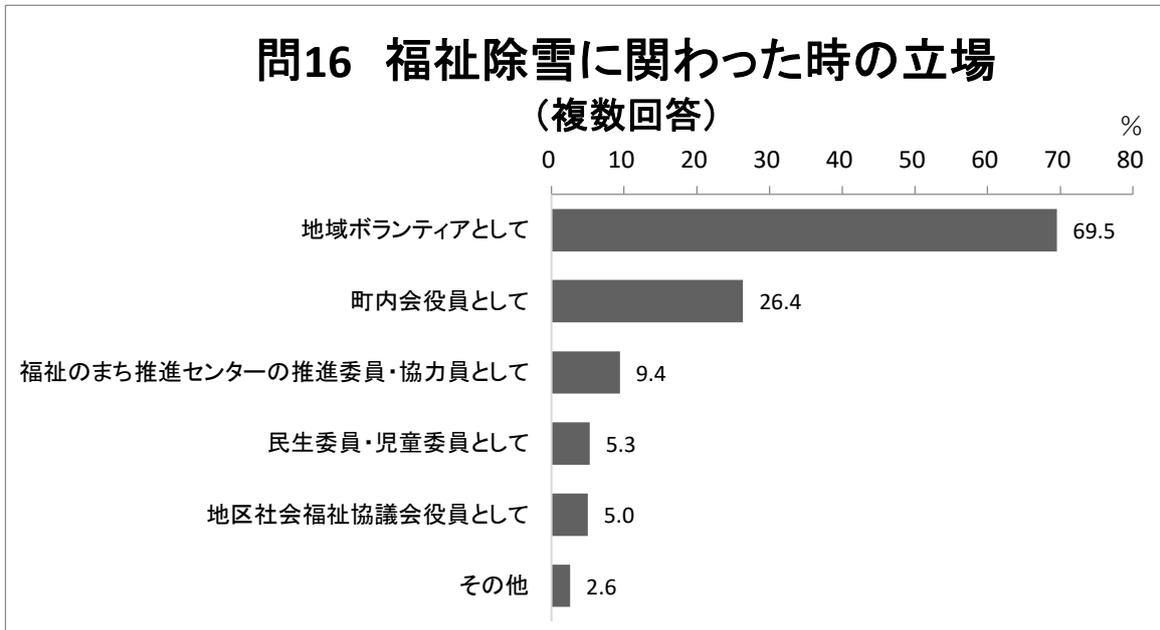
	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上	全体
除雪作業による身体 への負担が大きかった	1.8%	14.4%	59.5%	24.3%	100.0%
雪を片付ける 場所が足りない	2.2%	19.4%	55.2%	23.1%	100.0%
昼までに終わらせ なければならない	0.0%	15.7%	56.9%	27.5%	100.0%
降雪の予想が出来なくて 除雪車がいつ来るか分からない	0.0%	18.3%	62.2%	19.5%	100.0%
利用世帯に声かけを しなければならない	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	100.0%
シーズン通しての 活動である	0.0%	12.5%	61.1%	26.4%	100.0%
その他	1.5%	18.5%	63.1%	16.9%	100.0%

除雪作業実施の頻度（問15）について尋ねたところ、「除雪車の出動に関わらず、雪の多く降った日に実施したい（45.1%）」と「現行のままでいい（42.2%）」がほぼ同じ割合であった。



(3) 協力の立場【問16】

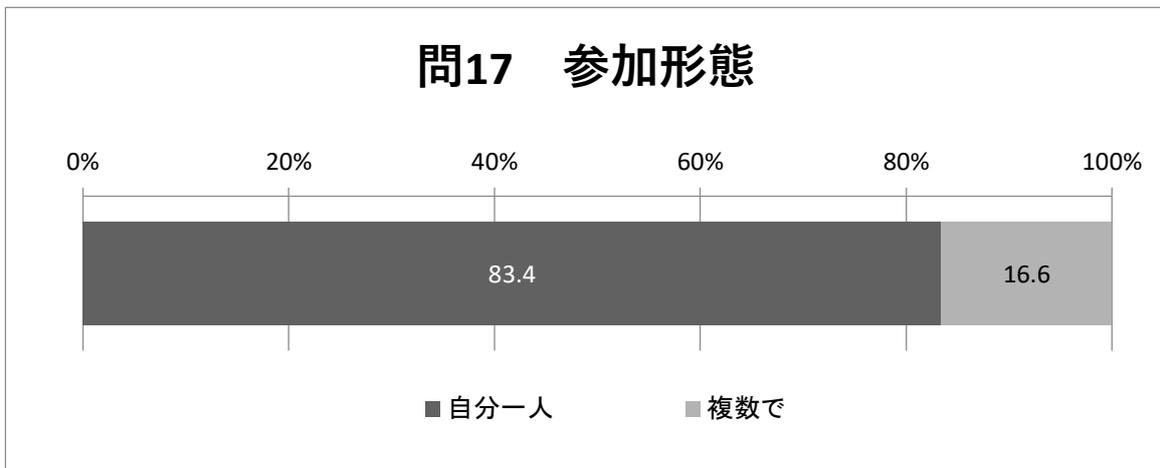
「地域ボランティア」の立場で協力している人が69.5%と、約7割を占めている。他には、「町内会役員」が26.4%、「福祉のまち推進センターの推進委員・協力員」が9.4%となっている。また、前年度と比較すると、「地域ボランティア」「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会役員」が増加し、「町内会役員」が減少している。



	R6	R5
地域ボランティアとして	69.5%	67.6%
町内会役員として	26.4%	29.1%
福祉のまち推進センターの推進委員・協力員として	9.4%	9.4%
民生委員・児童委員として	5.3%	4.4%
地区社会福祉協議会役員として	5.0%	3.3%
その他	2.6%	5.2%

(4) 参加形態【問17】

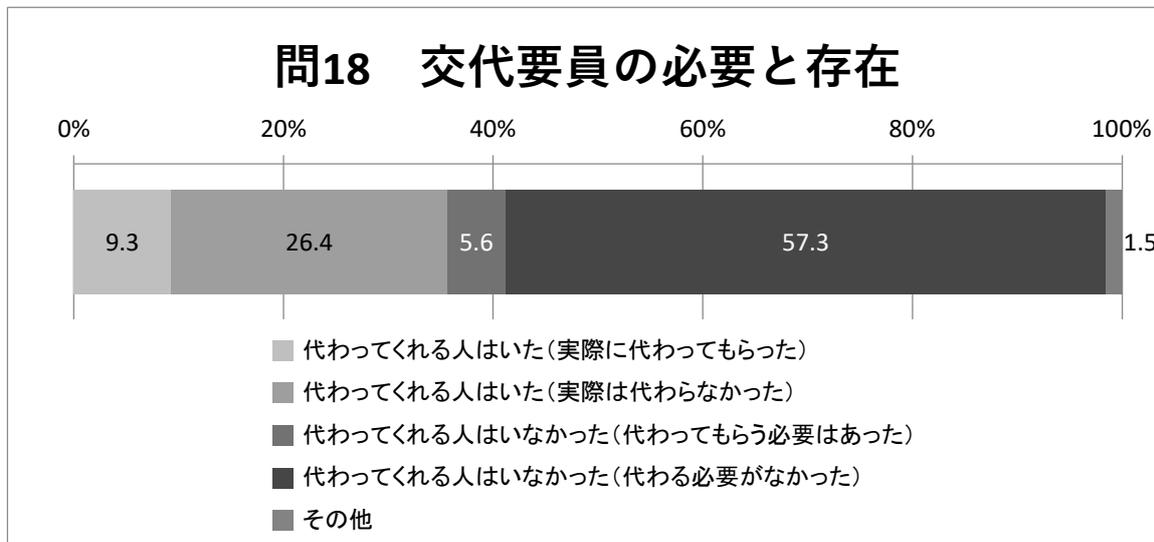
「自分一人」で参加した人が83.4%と、約8割を占めている。また、前年度と比較すると、「自分一人」が7ポイント増加している。



	自分一人	複数で	全体
R6	83.4%	16.6%	100.0%
R5	76.4%	23.6%	100.0%

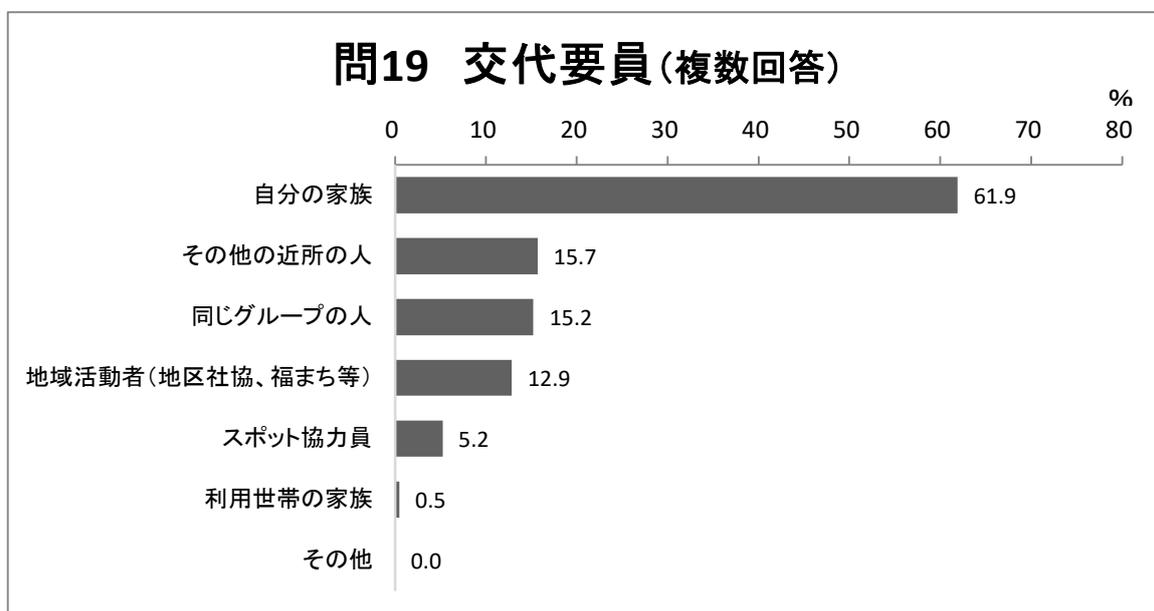
(5) 交代要員の必要性和存在【問18、問19】

「代わってくれる人はいた」方（「実際に代わってもらった」および「実際は代わらなかった」）は35.6%と、約4割であった。一方で、「代わってもらえる人はいなかった（代わってもら必要はあった）」は5.6%となっている。



交代要員の多くは「自分の家族（61.9%）」で、約6割に上る。次いで「その他の近所の人（15.7%）」、「同じグループの人（15.2%）」であった。

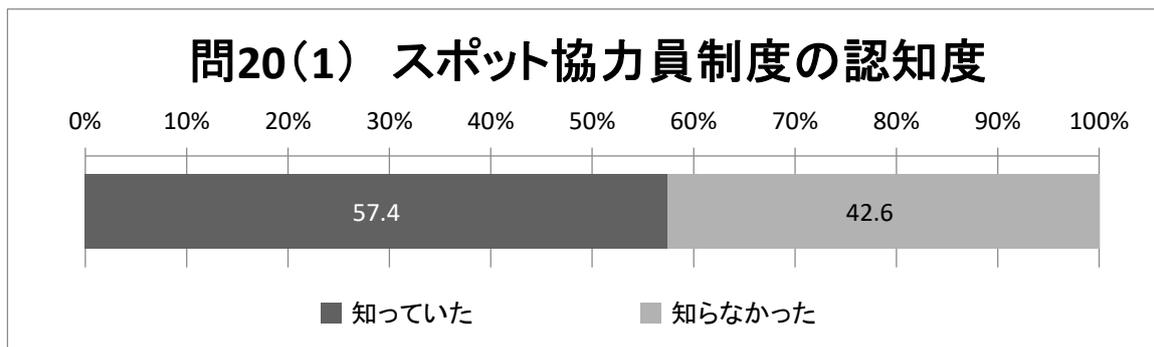
また、前年度と比較すると、「その他近所の家族」は2.4ポイント、「利用世帯の家族」は2.0減少したのに対し、「スポット協力員」は4.2ポイント、「地域活動者」は2.1ポイント、「同じグループの人」は2.0ポイント増加している。



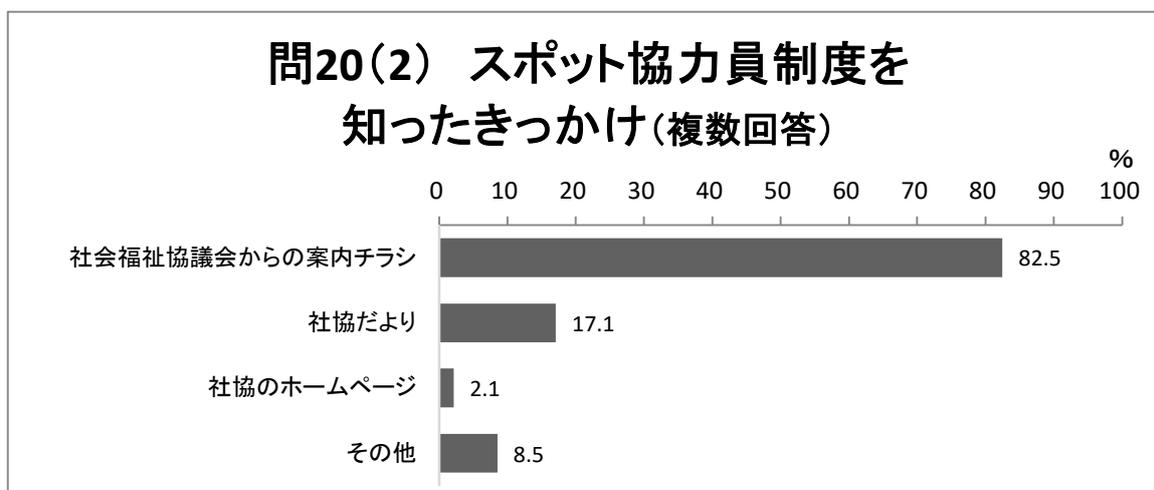
	R6	R5
自分の家族	61.9%	61.8%
その他の近所の人	15.7%	18.1%
同じグループの人	15.2%	13.2%
地域活動者(地区社協、福まち等)	12.9%	10.8%
スポット協力員	5.2%	1.0%
利用世帯の家族	0.5%	2.5%
その他	0.0%	1.5%

(6) スポット協力員制度【問20(1)～問20(5)】

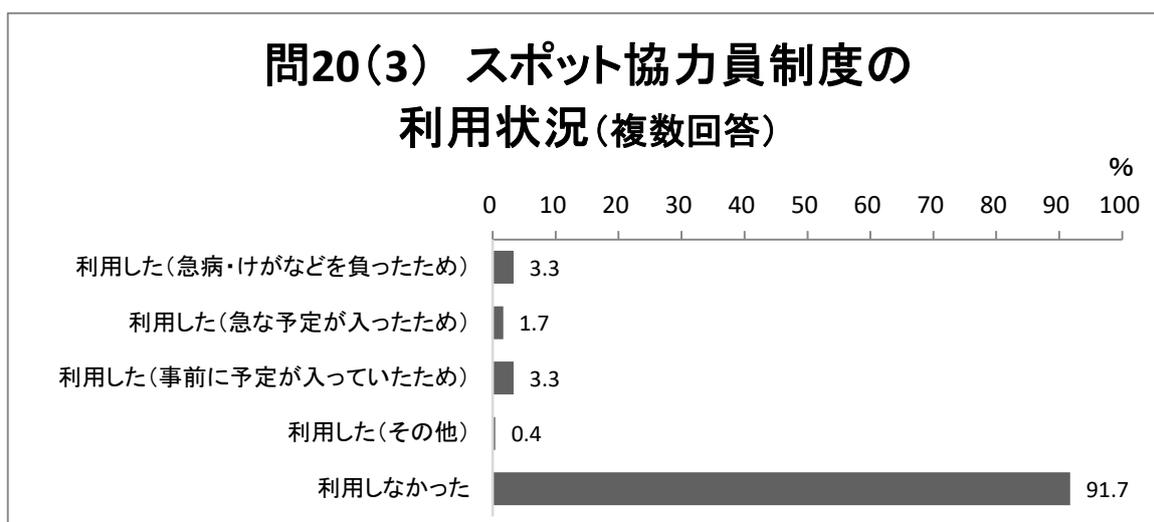
スポット協力員制度について、57.4%が「スポット協力員制度を知っている」と回答した。



スポット協力員制度を知ったきっかけは、「社会福祉協議会からの案内チラシ」の割合が最も高く82.5%、次いで「社協だより (17.1%)」「社協のホームページ (2.1%)」の順となっている。



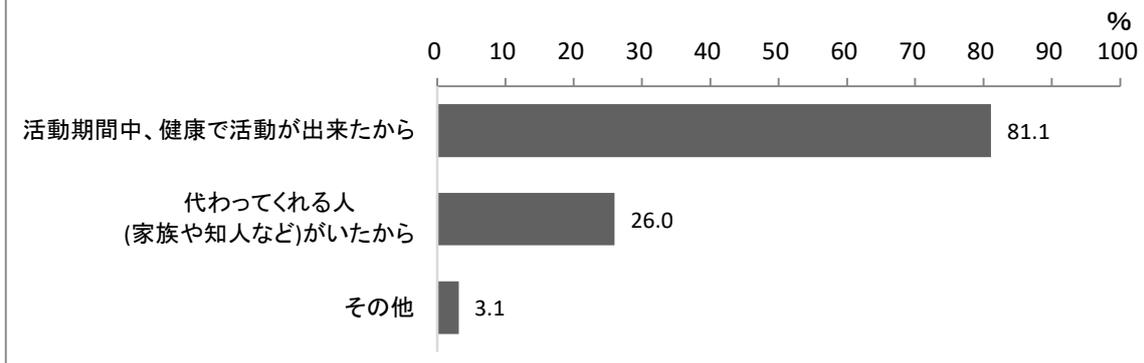
スポット協力員制度の利用状況は、「利用しなかった」の割合が最も高く91.7%だった。「利用した」回答件数は20件と少なかったが、内訳としては「急病・けがなどを負ったため」「事前に予定が入っていたため」がそれぞれ3.3%、「急な予定が入ったため」が1.7%であった。



また、スポット協力員制度による心境の変化を尋ねたところ、「安心した」が37.9%、「特に変わらなかった」が60.3%であった。

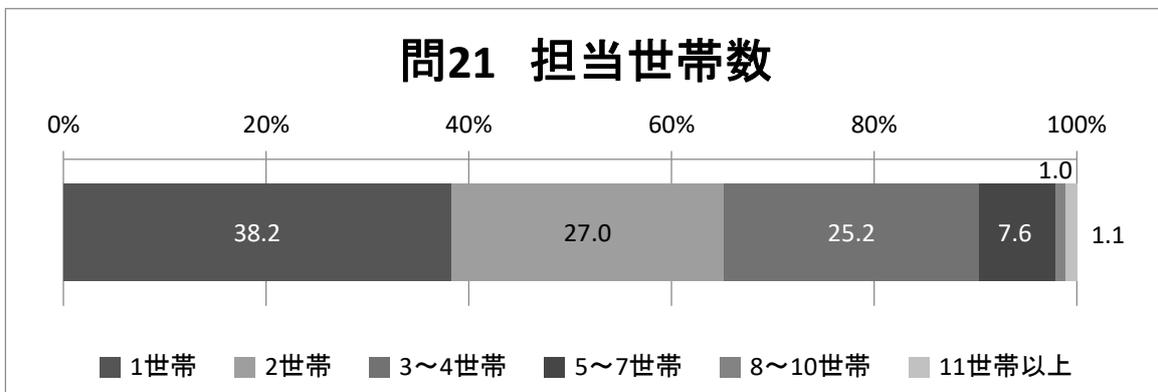
「特に変わらなかった」と回答した方に理由を聞いたところ、「活動期間中、健康で活動が出来たから」が81.1%、「代わってくれる人(家族や知人など)がいたから」が26.0%であった。

問20(5) 心境の変化がなかった理由 (複数回答)



(7) 担当世帯数【問21】

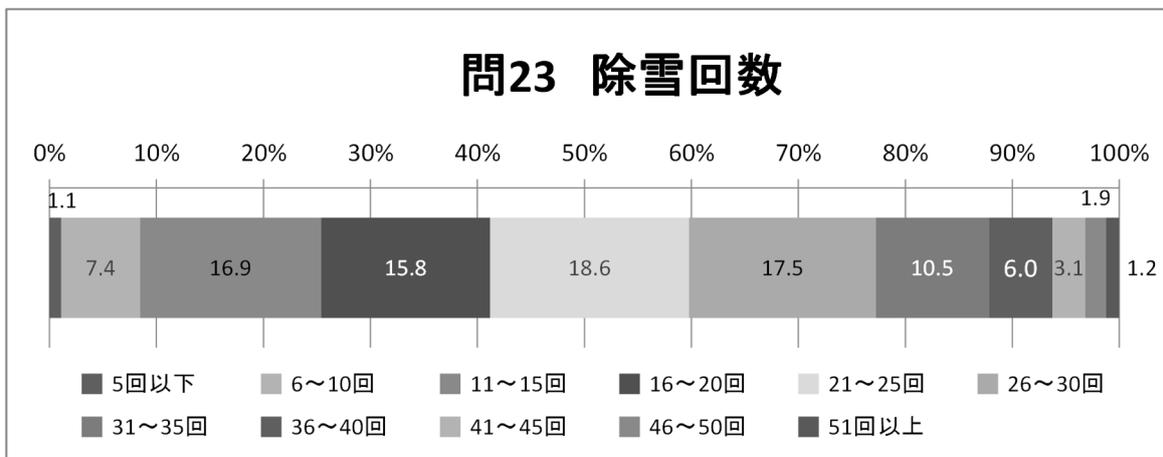
「1世帯」が38.2%と、約4割であった。また、前年度と比較すると、「1世帯」「8～10世帯」以外の全ての項目で割合が増加している。



	1世帯	2世帯	3～4世帯	5～7世帯	8～10世帯	11世帯以上	全体
R6	38.2%	27.0%	25.2%	7.6%	1.0%	1.1%	100.0%
R5	48.2%	26.1%	19.1%	4.4%	1.4%	0.7%	100.0%

(8) 除雪回数(1世帯あたり平均)【問23】

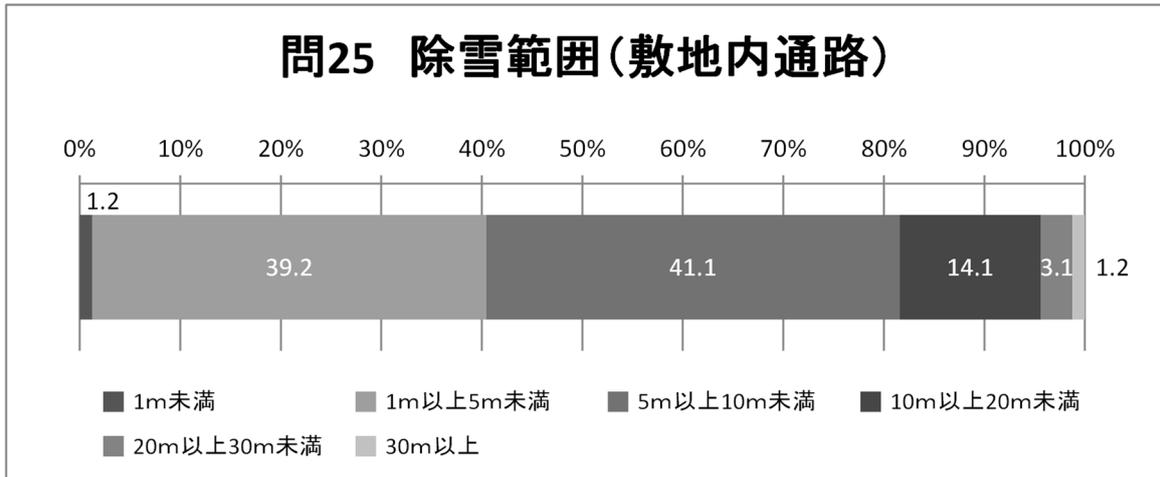
「21～25回」が18.6%と最も高く、次いで「26～30回(17.5%)」、「11～15回(16.9%)」、「16～20回(15.8%)」、であった。また、21回以上は58.8%と、全体の約6割となっている。



	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41～45回	46～50回	51回以上	全体
R6	1.1%	7.4%	16.9%	15.8%	18.6%	17.5%	10.5%	6.0%	3.1%	1.9%	1.2%	100.0%
R5	1.3%	4.8%	10.5%	17.0%	19.9%	17.6%	14.1%	7.6%	3.5%	1.8%	1.7%	100.0%

(9) 除雪範囲（敷地内通路）【問25】

「5m以上10m未満」の割合が最も高く41.1%、次いで「1m以上5m未満」が39.2%であった。また、『10m以上』は18.4%と、全体の約2割であった。

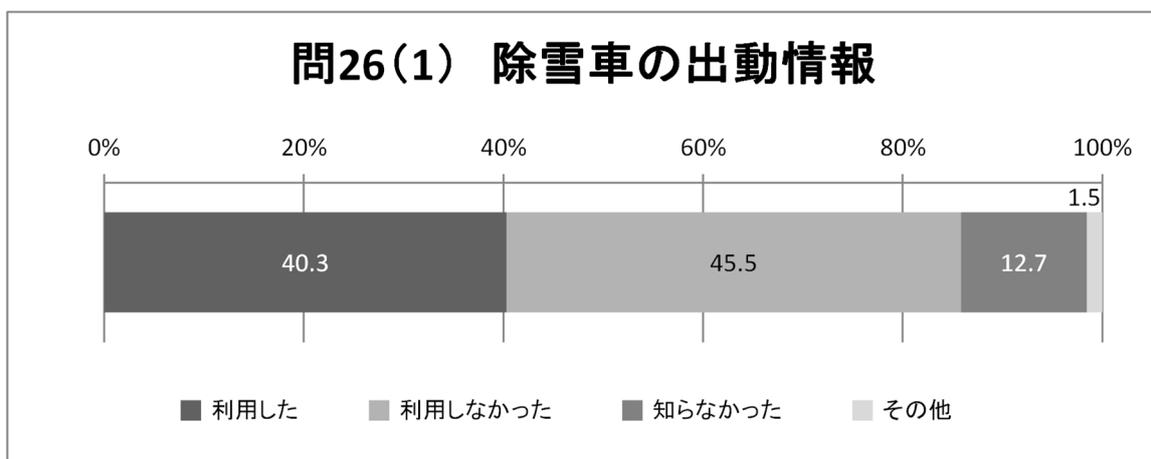


問11「適切な活動費」別にみると、全ての項目で「25,000円～30,000円未満」と回答している割合が最も高かった。

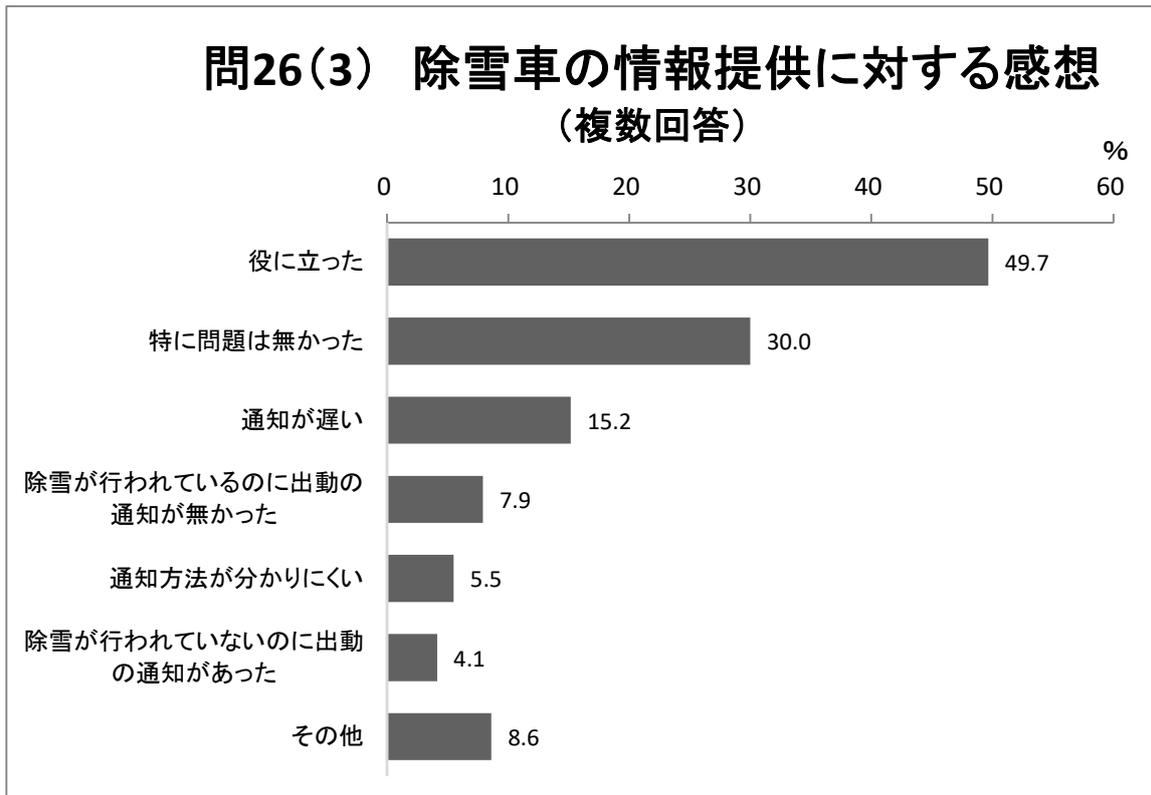
	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円以上	全体
1m未満	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
1m以上 5m未満	2.2%	21.9%	59.1%	16.8%	100.0%
5m以上 10m未満	2.4%	23.1%	55.0%	19.5%	100.0%
10m以上 20m未満	1.8%	16.1%	66.1%	16.1%	100.0%
20m以上 30m未満	0.0%	35.3%	41.2%	23.5%	100.0%
30m以上	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	100.0%

(10) 除雪車出動情報の活用【問26(1)、問26(3)】

除雪車の出動情報を「利用した」と回答した方の割合は40.3%であった。



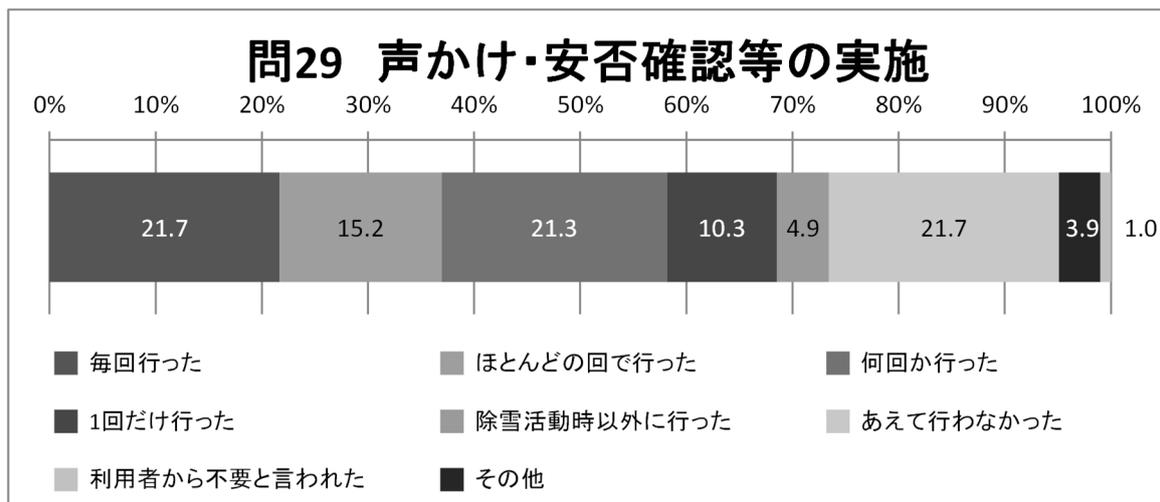
除雪車の情報提供については、「役に立った」が49.7%、「特に問題は無かった」が30.0%であった。一方で、「通知が遅い(15.2%)」や「除雪が行われているのに出動の通知が無かった(7.9%)」など、情報提供が降雪・除雪の実態に即していないとの回答も挙げられた。



(11) 声かけ・安否確認【問29】

「毎回」(21.7%)、「ほとんどの回」(15.2%)、「何回か」(21.3%)を合わせた『日常的な声かけ・安否確認』は、約6割であった。

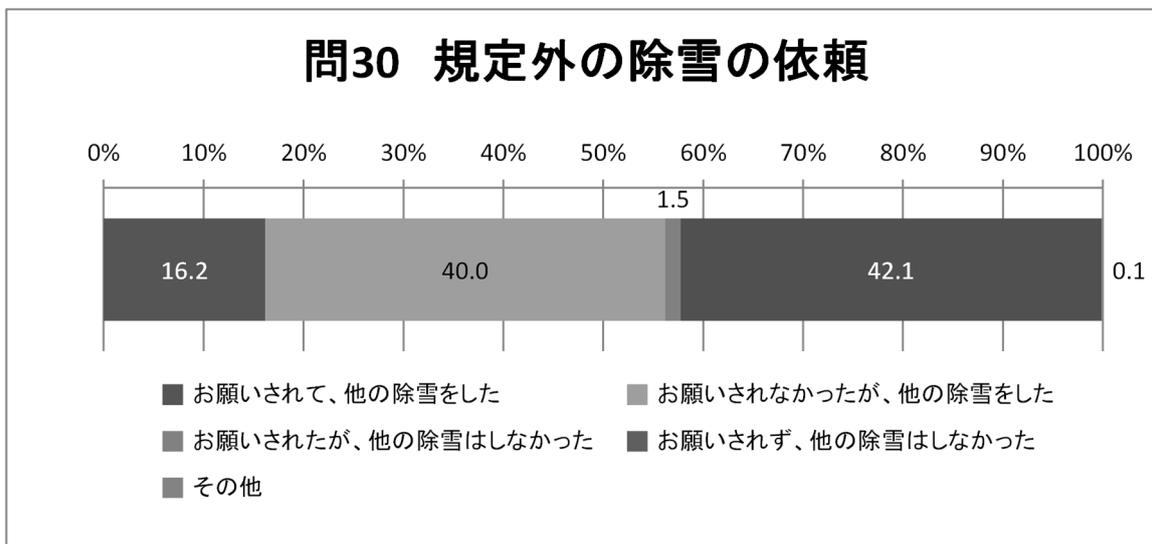
一方、早朝作業などを理由に「あえて行わなかった」(21.7%)、「利用者から不要と言われた」(3.9%)など、約3割が『声かけ・安否確認』を行わなかった。



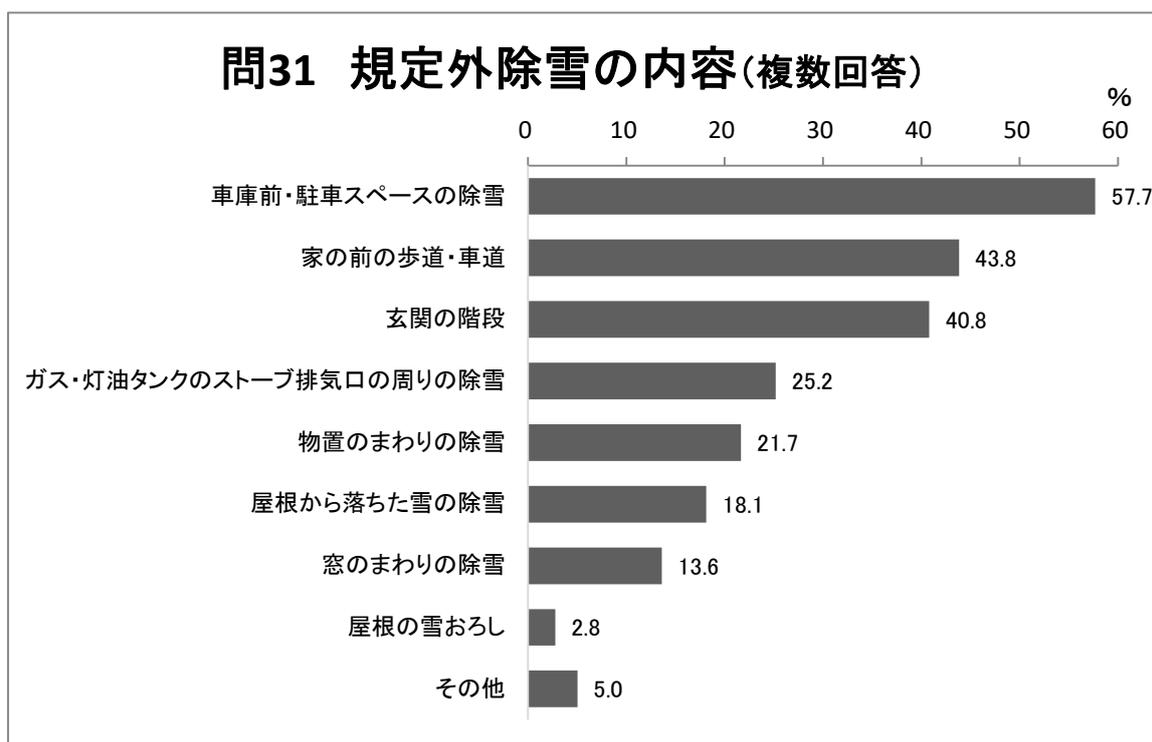
	毎回行った	ほとんどの回で行った	何回か行った	1回だけ行った	除雪活動時以外に行った	あえて行わなかった	利用者から不要と言われた	その他	全体
R6	21.7%	15.2%	21.3%	10.3%	4.9%	21.7%	3.9%	1.0%	100.0%
R5	20.4%	13.7%	20.9%	7.4%	8.3%	23.4%	2.8%	3.1%	100.0%

(12) 規定外の除雪【問30、問31】

「お願いされず、他の除雪はしなかった」の割合が最も高く42.1%であった。また、「お願いされなかったが、他の除雪をした」と「お願いされて、他の除雪をした」と合わせると、約6割が規定外の除雪を実施している。



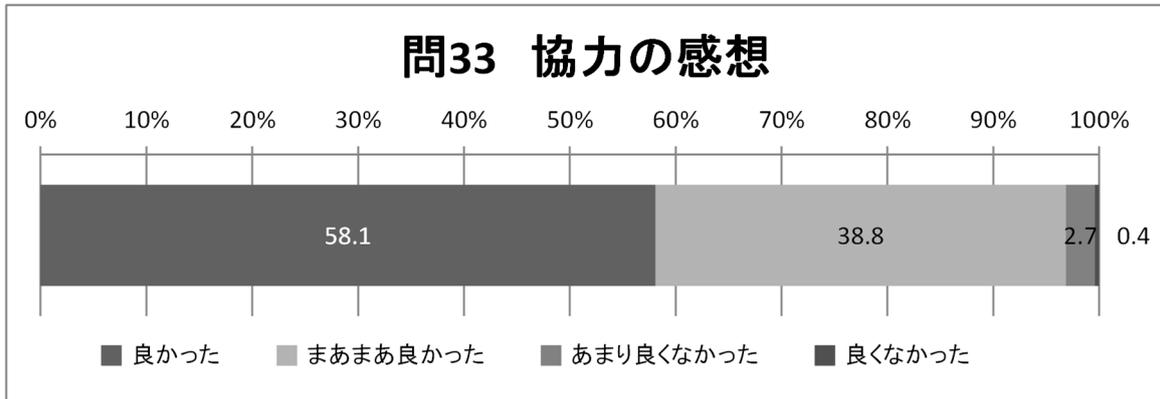
除雪を行った箇所については「車庫前・駐車スペース」の割合が最も高く57.7%、次いで「家の前の歩道・車道 (43.8%)」、「玄関の階段 (40.8%)」の順であった。



3. 福祉除雪事業への参加について

(1) 協力の感想【問33】

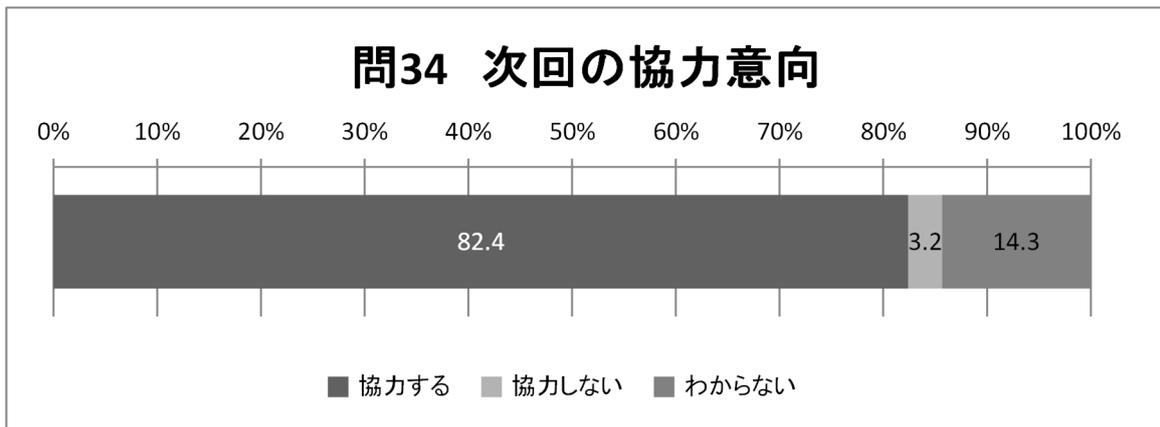
「良かった」「まあまあ良かった」を合わせると 96.9%となり、ほぼ全ての人が『良かった』と回答している。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	全体
R6	58.1%	38.8%	2.7%	0.4%	100.0%
R5	55.9%	39.2%	4.4%	0.6%	100.0%

(2) 次回協力【問34】

「次回も協力する」は 82.4%と、約 8 割が協力すると回答している。



	協力する	協力しない	わからない	全体
R6	82.4%	3.2%	14.3%	100.0%
R5	79.3%	2.8%	18.0%	100.0%

「除雪作業が大変である理由」（問13）別にみると、次回も協力すると回答した方の中では「利用世帯に声かけをしなければならない（80.0%）」、「雪を片付ける場所が足りない（76.7%）」、「シーズン通しての活動である（76.3%）」、「降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない（75.0%）」などが多く挙げられた。

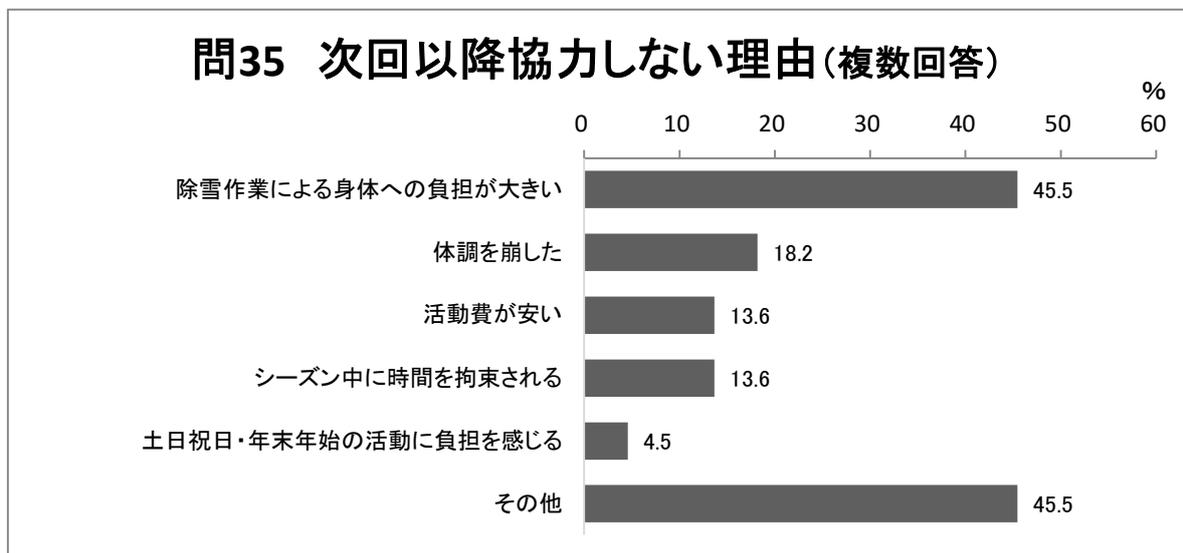
	協力する	協力しない	分からない	全体
除雪作業による身体への負担が大きかった	73.5%	5.4%	21.1%	100.0%
雪を片付ける場所が足りない	76.7%	1.7%	21.5%	100.0%
最後までに終わらせなければならない	71.2%	0.0%	28.8%	100.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	75.0%	3.6%	21.4%	100.0%
利用世帯に声かけをしなければならない	80.0%	6.7%	13.3%	100.0%
シーズン通しての活動である	76.3%	2.2%	21.5%	100.0%
その他	75.0%	6.3%	18.8%	100.0%

また、次回も協力すると回答した方を「除雪範囲（敷地内通路）」（問24）別にみると、「30m以上」の割合が最も高く、88.9%であった。

	協力する	協力しない	分からない	全体
1m未満	77.8%	0.0%	22.2%	100.0%
1m以上 5m未満	78.3%	4.3%	17.3%	100.0%
5m以上 10m未満	86.9%	2.4%	10.7%	100.0%
10m以上 20m未満	80.6%	4.1%	15.3%	100.0%
20m以上 30m未満	81.8%	0.0%	18.2%	100.0%
30m以上	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%

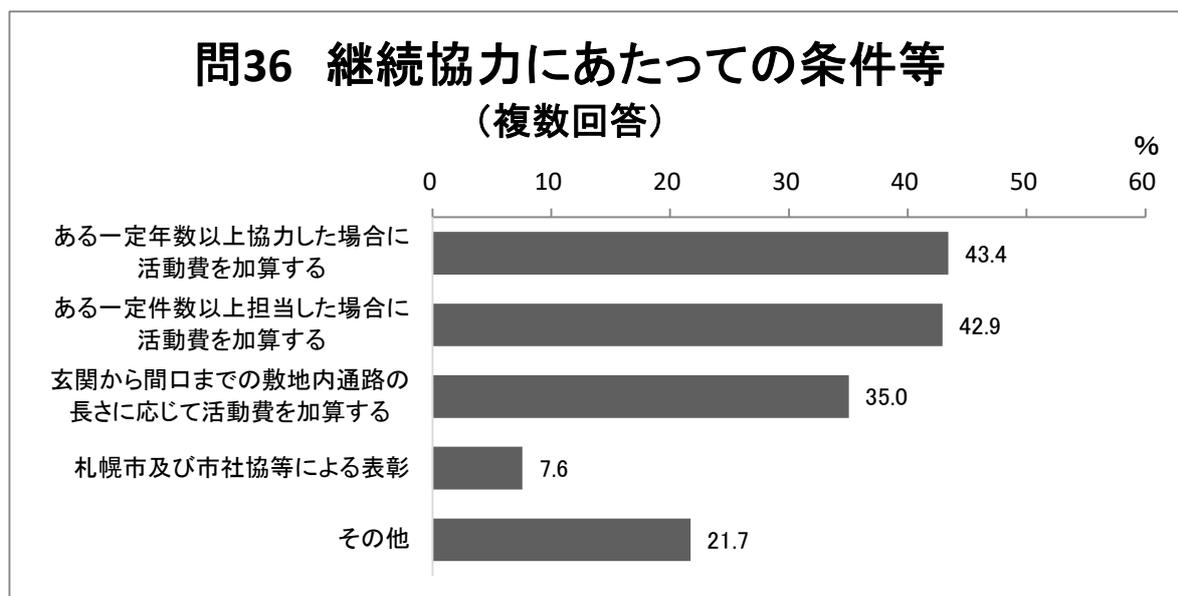
（3）協力しない理由【問35 ※問34で「協力しない」と回答した方限定】

「除雪作業による身体への負担が大きい」が45.5%と最も高く、次いで、「体調を崩した（18.2%）」、「体調を崩した」「シーズン中に時間を拘束される」（ともに13.6%）となっている。



(4) 継続協力にあたっての条件等【問36】

「ある一定年数以上担当した場合に活動費を加算する（43.4%）」および「ある一定件数以上協力した場合に活動費を加算する（42.9%）」の割合が高く、いずれも約4割であった。

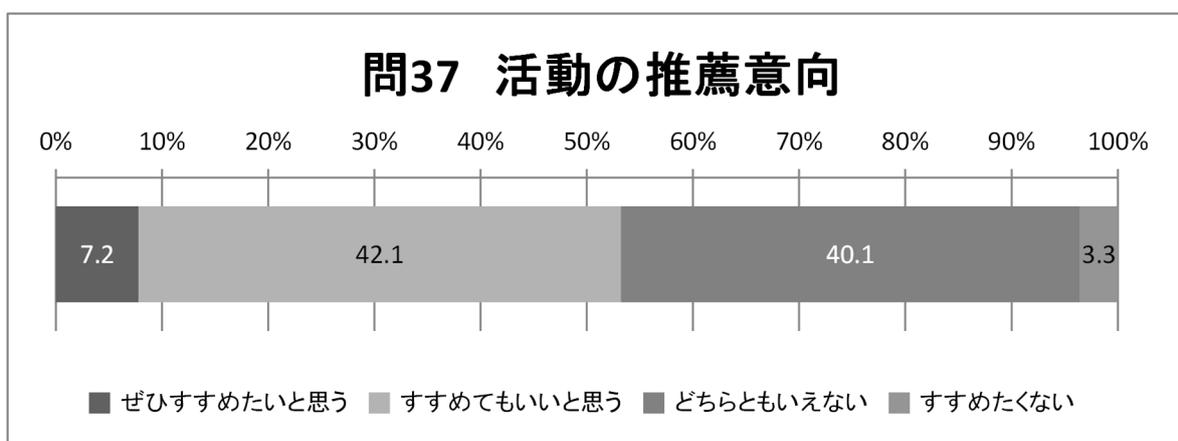


また、「担当世帯数」（問20）別にみると、「1世帯」、「2世帯」では、「ある一定年数以上協力したら活動費を加算する」（それぞれ38.2%、44.5%）、「3～4世帯」、「5～7世帯」、「8～10世帯」、「11世帯以上」では、「ある一定件数以上担当したら活動費を加算する」（それぞれ55.3%、59.2%、50.0%、75.0%）が最も高い割合を示している。

	ある一定件数以上担当したら	ある一定年数以上協力したら	玄関から間口までの敷地内通路の長さに応じて	札幌市及び市社協による表彰	その他
1世帯	34.8%	38.2%	35.2%	6.4%	23.6%
2世帯	37.4%	44.5%	36.8%	6.5%	24.5%
3～4世帯	55.3%	50.0%	32.0%	8.7%	18.0%
5～7世帯	59.2%	42.9%	38.8%	10.2%	18.4%
8～10世帯	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
11世帯以上	75.0%	75.0%	50.0%	12.5%	12.5%

(5) 活動の推薦意向【問37 ※今年度初めて福祉除雪協力員として活動した方限定】

今年度初めて福祉除雪協力員として活動した方に、福祉除雪活動の推薦意向と聞いたところ、「すすめてもいいと思う」の割合が最も高く、42.1%であった。



(5) 「福祉除雪についての意見（改善点など）（自由記入）【問38】

主な意見抜粋

回答者数合計 295 件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	福祉除雪にあたっては、近隣との関係を良好に保つよう心がけている。近い将来、年齢構成によって除雪希望者と担う人との受給が成り立たなくなると思う。その検討案を速やかに提示の上、討議を願う。除雪の問題だけでなく、公道上の不法駐車＝車庫法違反を徹底的に摘発・処罰できる条例を制定してください。	104
	福祉除雪を担当して感じる事は、除雪の回数が担当者により大幅に違う（7～40回）ことです。要因は協力者が「福祉」と考えるか「アルバイト」と考えているかの違いでは、と感じています。改善策として、除雪車の出動に合わせるのはやめて、せめて10cm くらいの目安にすれば回数が多くなると思います。また、活動者についても、7回の人と40回の人では、あまりに平等の差が大きいので、20回以上は10%増、30回以上は30%増等のインセンティブがあれば、依頼者・協力者共に喜んでもらえるのでは？	
	有償ボランティア活動をあまり快く思っていない人がいるかもしれませんが、誰でも気軽に長く活動できるようにするためには必要なことと私は考えています。社会福祉協議会の垣根を低くする活動を社会全体に通していきたいものです。行為への対価を支払うのが意識として定着し、対価を受け取ることへの後ろめたさを伴わない、フランクな社会を切に願うものです。	
	福祉除雪制度では利用者は負担金を払っていますが、小型除雪機貸出制度で借りた除雪機を町内会役員が福祉除雪の名のもとに個人として活動費を受領するのは誤りと思う。この件を貸出時の条件としてしっかり明記してほしい。	
基準外の除雪	既定の内容では、除雪としては不十分なのでもっとやってあげたいが、次年度担当する人に迷惑がかかるので、規定以上の除雪に対してはためられる。個別で個人と相談して対応している。ジムで筋肉を付けている人に向けて、地域に貢献できる筋肉の使い方として紹介するポスターなどで啓発してはどうか。スポット協力員をやってもいいが、やり方がわからない。	70
	現状、除雪車が入った日に実施するとなっていますが、それでは雪が固まり除雪に負担がかかります。たぶん15回以上活動している方は、そうしていると思います（除雪車の活動に関係なく実施）。今後案内するのであれば「積雪の状況を見て個別判断する」という風にされた方が良いかと思います。	
	訪問介護の駐車スペースの確保のため、間口を広く除雪したり、また利用者さんが車椅子を使用して通所されたりしている方もいらっしゃるのので、出来るだけ通路は気を付けて除雪をしています。今後どのように対処していけば良いでしょうか。	
	2年前言われたのが、正面玄関があるのに、この玄関使っていないと言われ、奥の勝手口のようなところが玄関と言われて長さが伸びただけでなく、その通りには屋根の雪が落ちてくるので最悪でした。今はその家は無くなったので安心していますが、今後このような家にたのまれた場合は断りたいです。	
やりがい・達成感	私が担当している家は目の前なので、我が家を除雪する時は必ず先に除雪しています。娘さんからとても喜ばれています。活動費も大事ですが、ボランティア精神で喜ばれることはとてもうれしいです。除雪だけに関わらず、困ったことが無いか声かけをして関わっていきたいと思っています。	64
	最初は子どもたちが「やってみたい」といったことがきっかけでしたが、実際の作業は主に私が行いました。それでも、子どもたちが手伝ってくれる日もあり、親子でボランティア活動をする良い経験となりました。途中からの参加となったのですが、担当されていた方が体調を崩されたためでした。微力ながらお役に立てて、良かったと思っています。	

項目	内容	件数
やりがい・達成感	町内会活動は 21 年間で卒業することができました。町内会のボランティアをする人が少なくなりました。福祉除雪は自分の体の運動にもなります。相手の方々も年齢の近い方、体の不自由な方々、最近では自分より年齢の若い方が多くなりました。自分は 85 歳です。令和 7 年も自分の運動のために挑戦したいと思っています。今後も宜しくお願い致します。	64
	ある利用者が近所の人と話していて「やってくれる人がいて良かったね」という言葉に対し「いや、金もらってやっているんだ」との返事が聞こえてきた。何か虚しくなった。利用者の多くは感謝の気持ちを持ってもらえると思います。	
除雪車の出動・作業内容	除雪車が入った後の雪が固いことがあり、除雪道具が壊れてしまうことが多かったので支給してほしい。	49
	除雪車が入った時、との条件では実際 1 シーズン 3~5 回位の除雪となりますが、朝 20cm 以上の日が多く、除雪しないと利用者とのトラブルに繋がります。そのために除雪車が入らない時でも除雪しました。そのような状況では続けたくありません。	
	除雪車の後始末をしている現状は是正すべき。市の除雪基準も疑問に思っている。住宅街で安心して歩ける歩道は一部だけで、雪道を車に注意しながら、なおかつ転倒しないように通行するのに難渋しているのは年寄りだけではないと思っている。私の家の隣は公園になっているので、除雪機で歩道を除雪している。多くの人が利用している。経費削減ばかりが先行している感があり、人にやさしい除雪を考えてほしい。	
制度の周知	近隣には一人暮らしで近所付き合いは無い人が見受けられるが、この制度を知らない人がいるようだ。秋に町内の回覧で案内があるが、見ていないのかも。申請の仕方が分からないのかも。おばあちゃんが曲がった腰で、半日ばかりで除雪している。声をかけても無反応。警戒しているのか。せつかくの制度なのに似たようなケースが他にもあるかも。	41
	除雪車の出動と積雪状態は必ずしもリンクしていないので、朝の状況で作業を実施した。日中にまとまった積雪があった日は夜に行くことも数日あった。基本的に 7 時頃に作業をするが、都合が悪く 10 時過ぎに行くことと除雪されている事が数回あり、本当に福祉除雪を必要としているのか疑問に思うことがあった。早朝に除雪をしろという無言の圧なのか。	
	今年で 4 年目の活動になります。自分の健康のためと思いついて参加しています。また、4 年連続で同じお宅に伺っていますが、そのうち 1 軒のお宅で毎年小言が多くなります。「除雪に入る時間は様々なので、市の除雪が入る時間も朝方 3~4 時。遅い時は 6 時くらいまでに入りますが、その時間等をその方に伝えると「寝ないで除雪車が来るのを待てばいい!」「家に来る訪問介護の人や他の人に除雪させるな!」「あなたの仕事なのだから責任もってやれ!」「できないなら他の業者を手配しろ!」「2 軒隣の家よりきれいにしろ!」など、毎回言われて何度か北区の方に連絡はしてみましたが、改善することなく今年度が終わりました。アンケートにも「来年度も参加したいですか?」とありますが、そのお宅以外なら参加しても良いと思っています。楽しく良い方向に行けばいいと思っています。改善があることを心から願います。	
協力員の募集・拡充等	道路除雪に関係なく、ある程度の積雪があれば除雪する。ただ、朝や夜にも除雪に行くので、時間的制約は規定にしないほしい。体調不良等で除雪が出来なくなった場合のサポート体制を明確にしてほしい。	22
	福祉除雪の依頼があった世帯の隣家に除雪対応の可否を確認し、お願いできるようにであれば遠距離活動が減ると思います。	
	今年初めてやりました。とても素晴らしい活動だと思います。始める前にご挨拶に伺った際、「前の方はここもここもやってくれた。前の方にまたやってもらいたい。チェンジ出来ないのか」と言われた。でもやってみたらとてもよかったです。これからもやれる時はやりたいです。ウチは子どもとやりましたが、子どもたちにとってもとても良い活動だと思うので、学校(中学生以上?)にもボランティア募集の紙を配るといいのかなと思います。既に配っていたらすみません。	
その他	作業時間を報告書に記載することになっているが、何のために書くのか理由を知りたい。必要であるならば拒むことはありませんが。	20
	担当外世帯からの依頼がありました。担当者に対する不満からと思われる。	

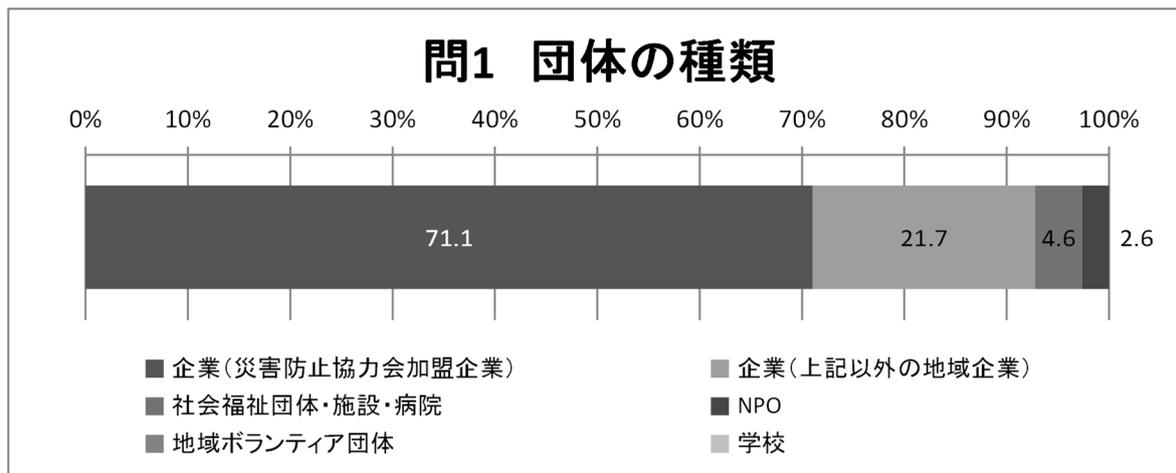
IV 地域協力団体

地域協力員のうち、地域協力団体（NPO、福祉施設、学校、地域企業、災防協）の協力員「214 団体（区間で重複する企業等を除く）」全てを対象にアンケート調査を実施したところ、「152 団体」から回答があった。（回収率 71.0%）

1. 団体について

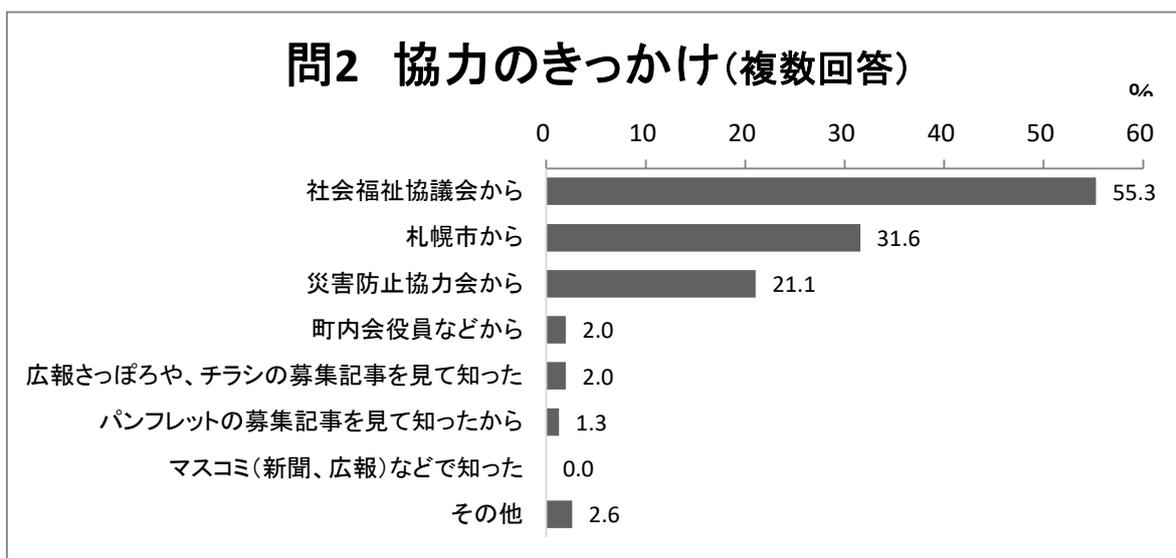
（1）団体の種類【問1】

「災害防止協力会加盟企業」の割合が最も高く 71.1%、次いで「災害防止協力会以外の地域企業」が 21.7%であった。



（2）協力のきっかけ【問2】

「社会福祉協議会」の回答の割合が 55.3%と最も高く、次いで「札幌市」が 31.6%、「災害防止協力会」が 21.1%と、関係団体からの協力要請が多い。また、前年度と比較すると「札幌市」が 5 ポイント増加している。

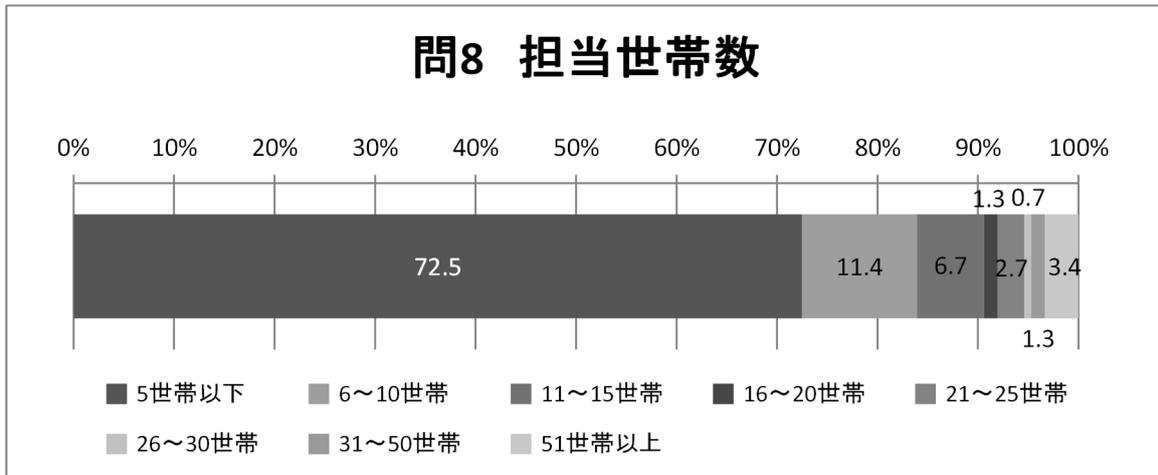


	R6	R5
社会福祉協議会から	55.3%	55.7%
札幌市から	31.6%	26.6%
災害防止協力会から	21.1%	22.8%
町内会役員などから	2.0%	2.5%
広報さっぽろや、チラシの募集記事を見て知った	2.0%	0.0%
パンフレットの募集記事を見て知ったから	0.0%	0.6%
マスコミ(新聞、広報)などで知った	0.0%	0.0%
その他	2.6%	2.5%

2. 除雪を担当した利用世帯について

(1) 担当世帯数【問8】

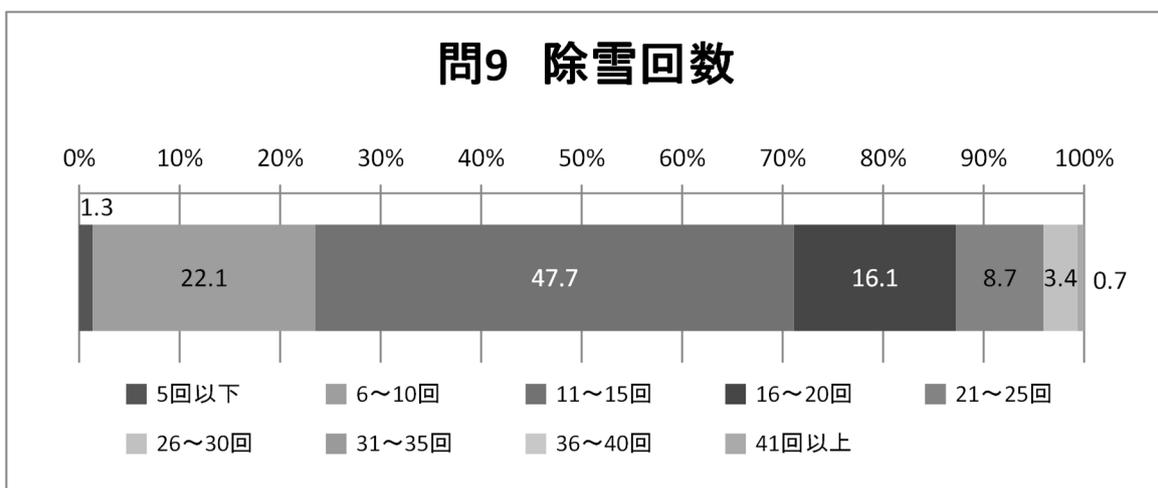
「5世帯以下」の回答の割合が72.5%と最も高く、「6～10世帯」の11.4%と合わせると、『10世帯以下』は約8割を占める。



	5世帯以下	6～10世帯	11～15世帯	16～20世帯	21～25世帯	26～30世帯	31～50世帯	51世帯以上	全体
R6	72.5%	11.4%	6.7%	1.3%	2.7%	0.7%	1.3%	3.4%	100.0%
R5	69.7%	9.9%	6.6%	3.3%	2.6%	3.3%	0.7%	3.9%	100.0%

(2) 除雪回数（1世帯あたり平均）【問9】

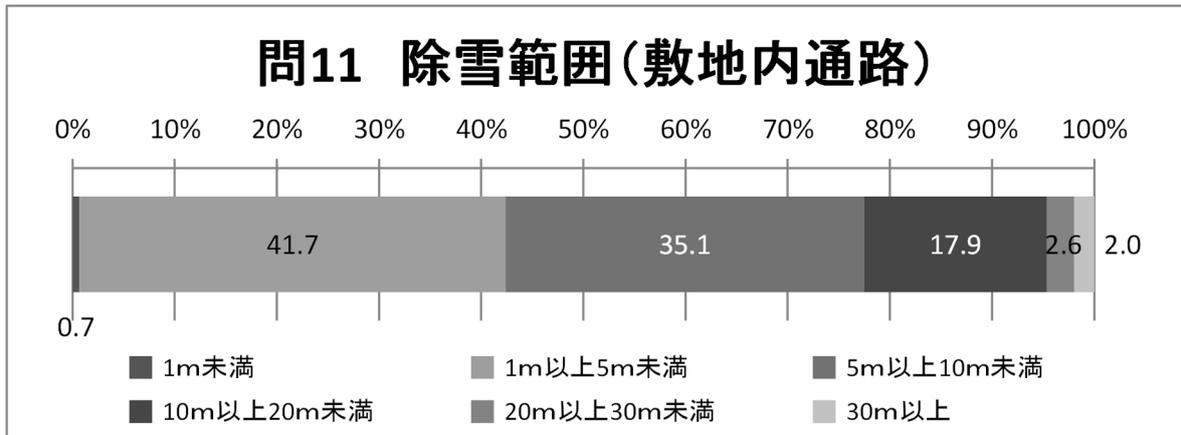
『15回以下』と回答した割合の合計は71.1%と、約7割を占めている。また、前年度と比較すると、「11～15回」は10.1ポイント増加している。一方、「16～20回」は21.5ポイント減少している。



	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41回以上	全体
R6	1.3%	22.1%	47.7%	16.1%	8.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
R5	1.3%	13.4%	37.6%	37.6%	7.0%	0.0%	1.3%	0.6%	1.3%	100.0%

(3) 除雪範囲（敷地内通路）【問11】

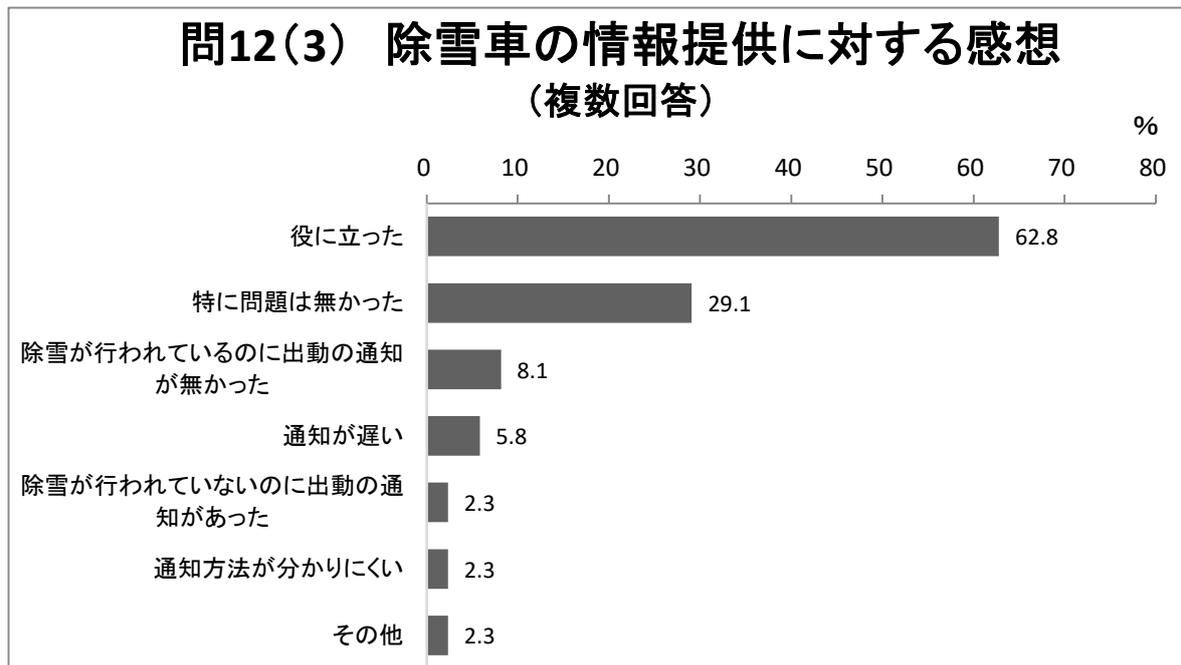
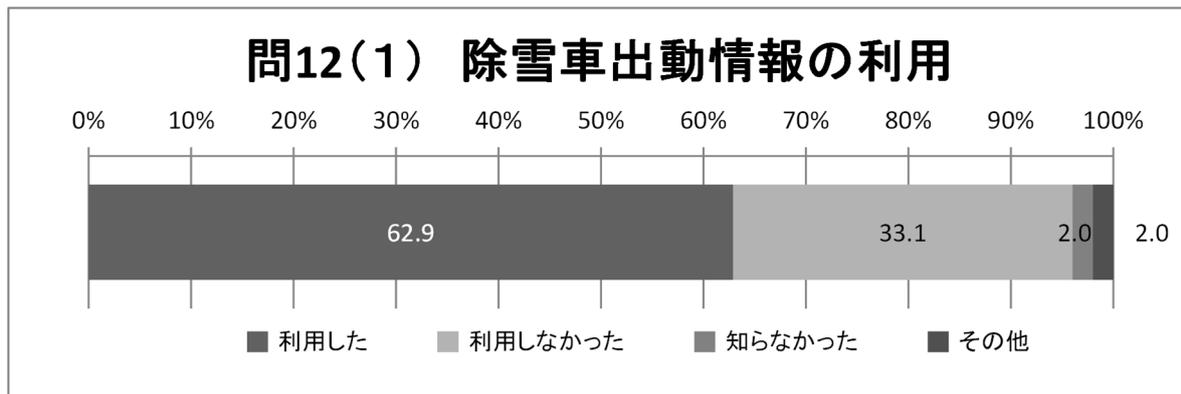
「1m以上5m未満」の回答の割合が41.7%と最も高く、次いで「5m以上10m未満（35.1%）」、「10m以上20m未満（17.9%）」であった。また『10m以上』は22.5%と、全体の約2割であった。



(4) 除雪車出動情報の利用【問12(1)、問12(3)】

出動情報を「利用した」は62.9%と、約6割が利用している。

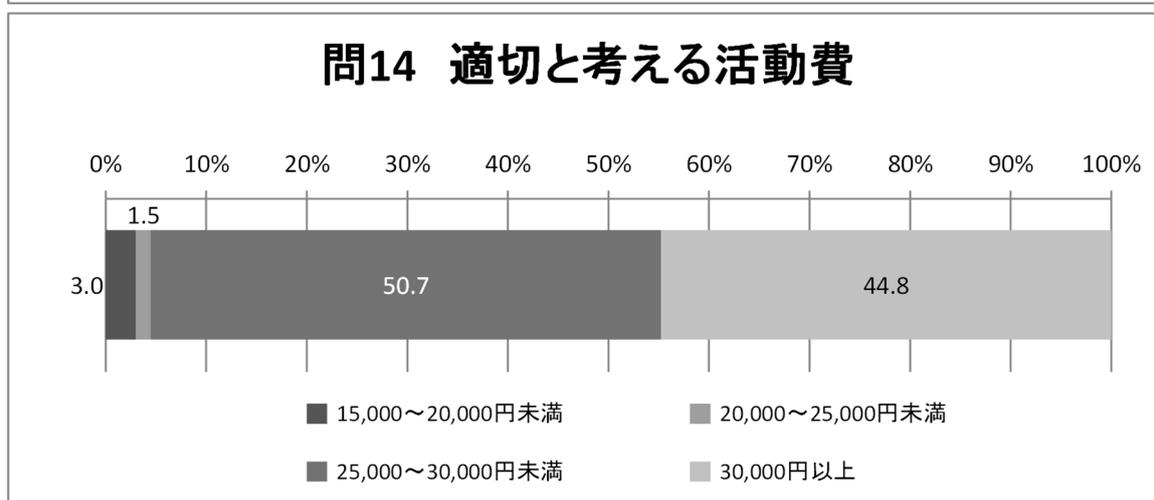
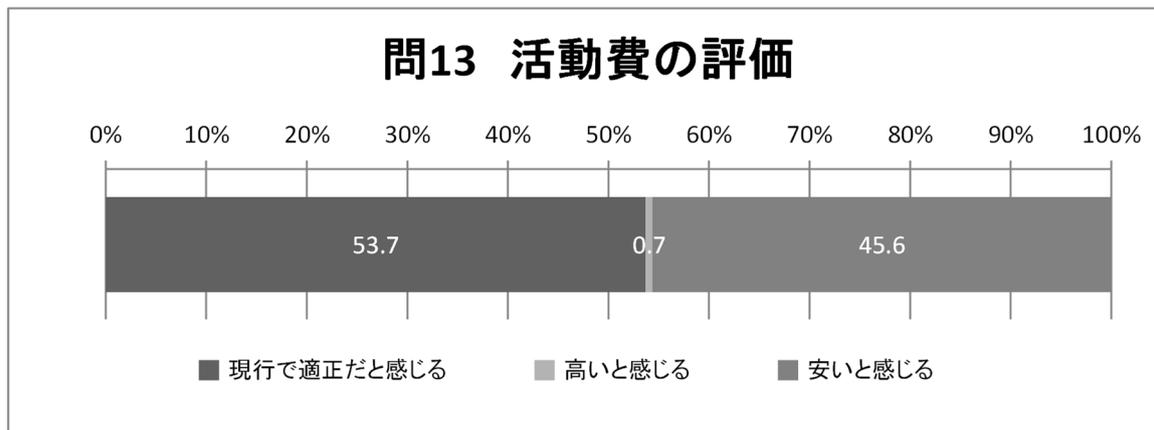
除雪車の情報提供については、「役に立った」が62.8%、「特に問題は無かった」が29.1%であった。一方で、「除雪が行われているのに出動の通知が無かった（8.1%）」や「通知が遅い（5.8%）」など、情報提供が降雪・除雪の実態に即していないとの回答も挙げられた。



(5) 活動費の評価【問13、問14】

活動費に関しては、53.7%の方が「現行で適切と感じる」と回答している。一方で、45.6%の方が「安いと感じる」と回答している。

また、問13で「高いと感じる」または「安いと感じる」と回答した方に、適切と考える活動費を尋ねたところ、「25,000円～30,000円未満」が50.7%と最も高く、次いで「30,000円以上」の割合が44.8%であった。



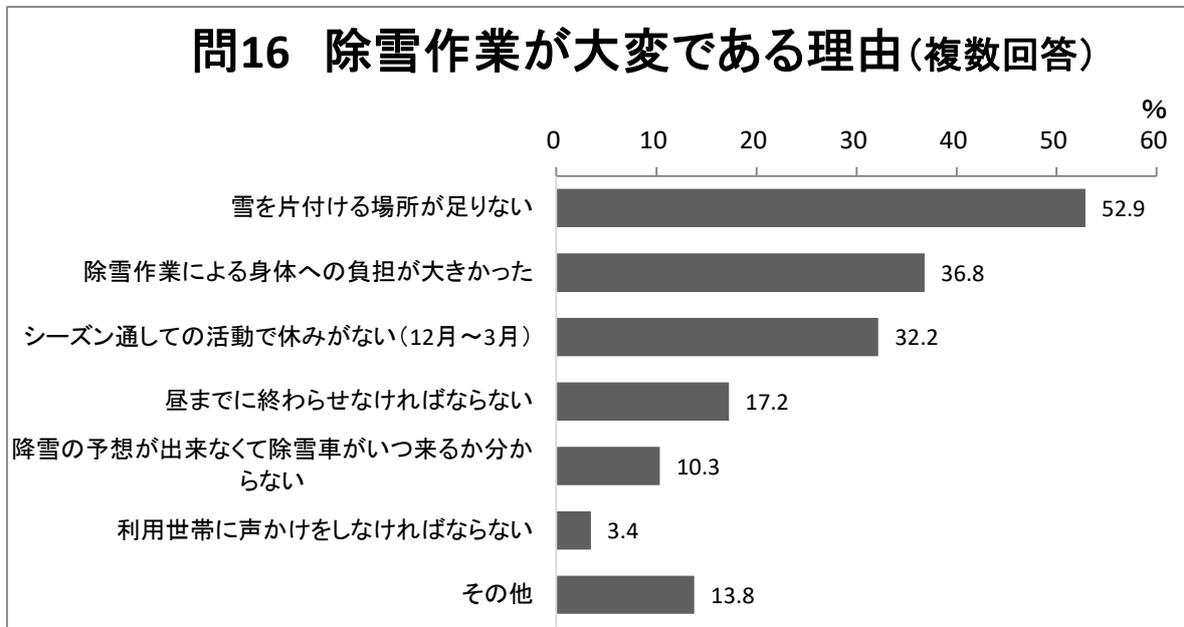
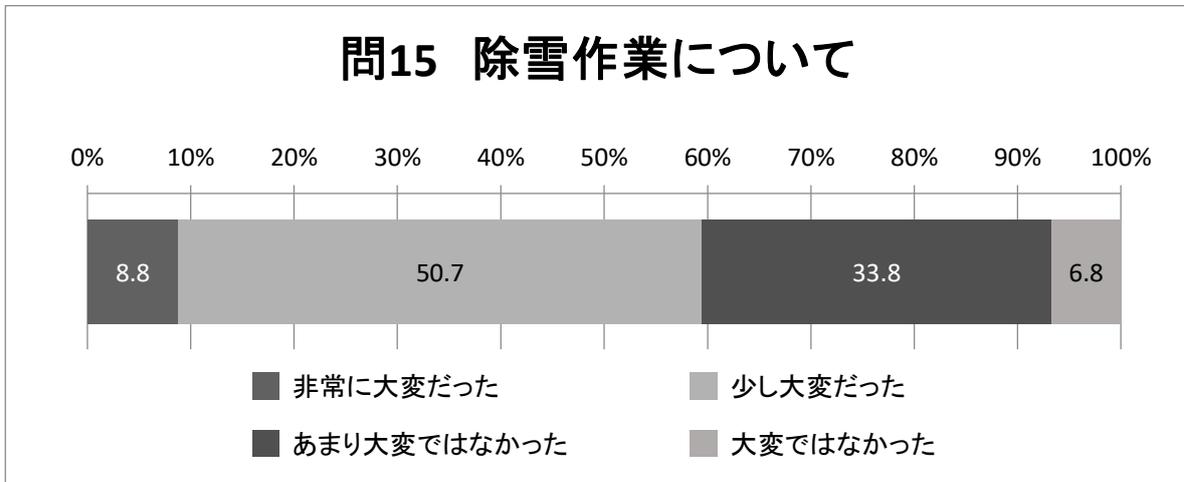
「除雪範囲（敷地内通路）」（問11）別にみると、「1m以上5m未満」および「30m以上」では「30,000円以上（それぞれ53.8%、100.0%）」、「5m以上10m未満」「10m以上20m未満」「20m以上30m未満」では「25,000円～30,000円未満（それぞれ47.8%、53.8%、100.0%）」の割合が最も高かった。

	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上
1m未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1m以上 5m未満	0.0%	0.0%	46.2%	53.8%
5m以上 10m未満	4.3%	4.3%	47.8%	43.5%
10m以上 20m未満	7.7%	0.0%	53.8%	38.5%
20m以上 30m未満	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30m以上	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(6) 除雪活動の負担感【問15、問16、問17、問18】

「少し大変」が 50.7%と約半数を占め、次いで「あまり大変ではなかった」が 33.8%であった。

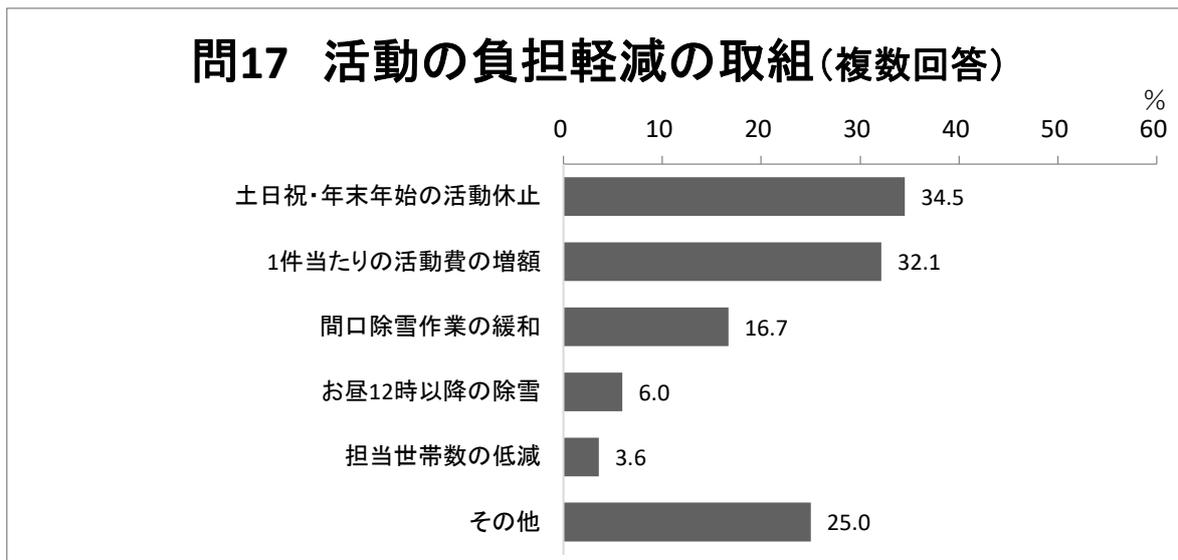
「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片づける場所が足りない (52.9%)」、「除雪作業による身体への負担が大きかった (36.8%)」、「シーズン通しての活動で休みがない (32.2%)」が特に多くあげられた。



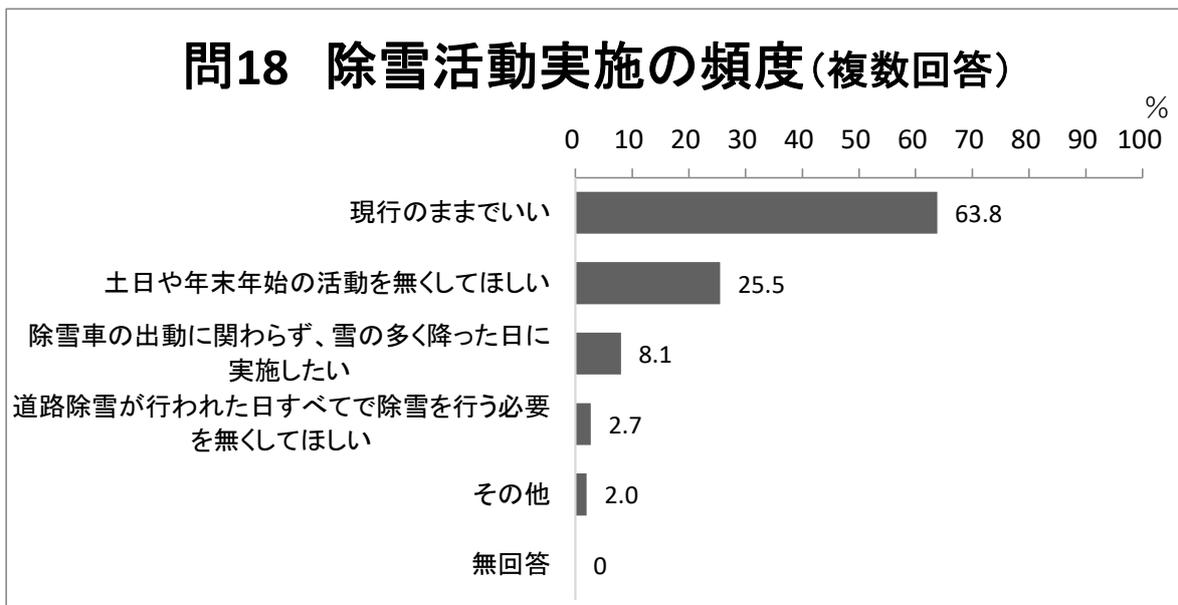
「適切と考える活動費」(問12)別にみると、「除雪作業による身体への負担が大きかった」「雪を片づける場所が足りない」「昼までに終わらせなければならない」「利用世帯に声かけをしなければならない」は、「30,000円以上」を希望する割合が最も高かった。

	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円以上
除雪作業による身体への負担が大きかった	0.0%	0.0%	45.0%	55.0%
雪を片づける場所が足りない	0.0%	0.0%	43.5%	56.5%
昼までに終わらせなければならない	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
利用世帯に声かけをしなければならない	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
シーズン通しての活動である	0.0%	6.7%	53.3%	40.0%
その他	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%

活動の負担軽減の取組では、「土日祝・年末年始の活動休止」の回答の割合が34.5%と最も高く、次いで「1件当たりの活動費の増額」が32.1%となっている。



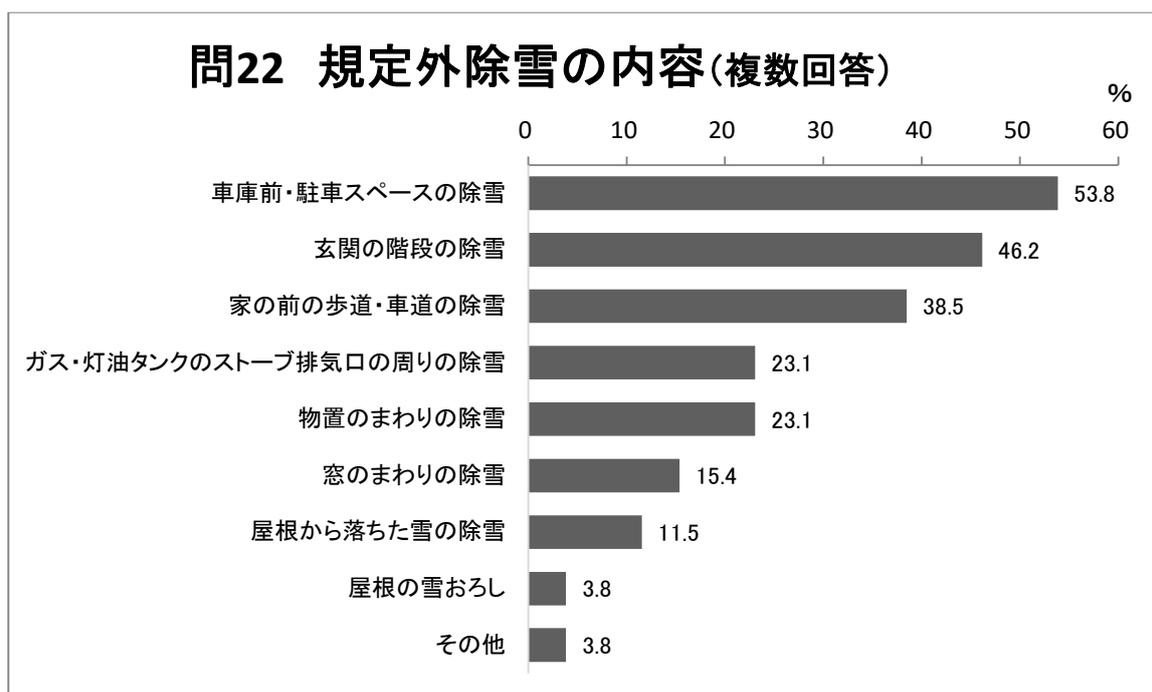
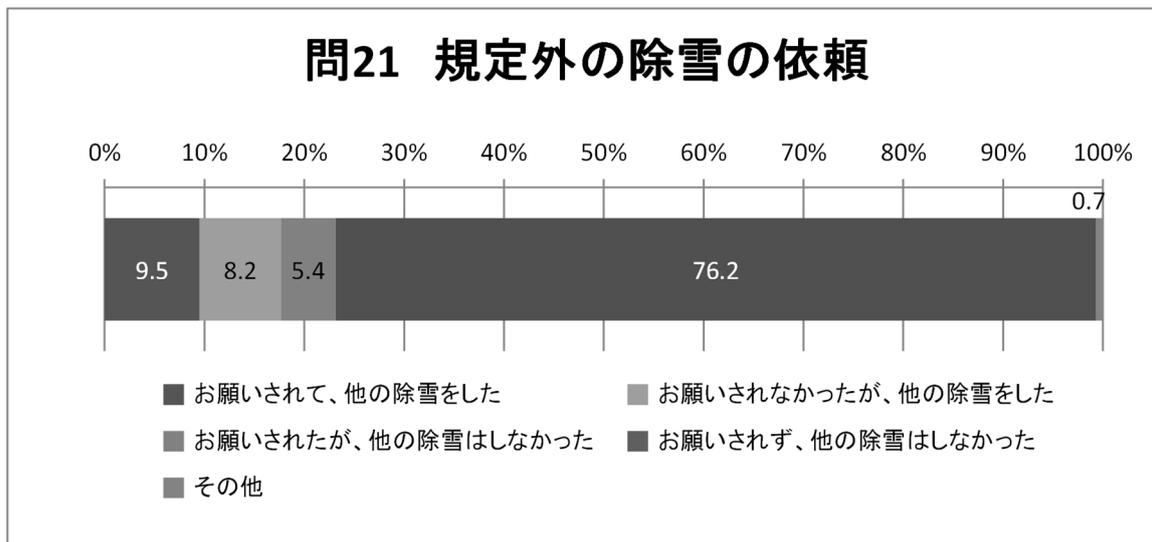
また、除雪活動実施の頻度では、「現行のままでいい」の回答の割合が63.8%と最も高く、次いで「土日や年末年始の活動を無くしてほしい」が25.5%であった。



(7) 規定外の除雪【問21、問22】

「お願いされず、他の除雪はしなかった」の回答の割合が最も高く76.2%であった。一方で、「他の除雪をした」は17.7%と、約2割であった。

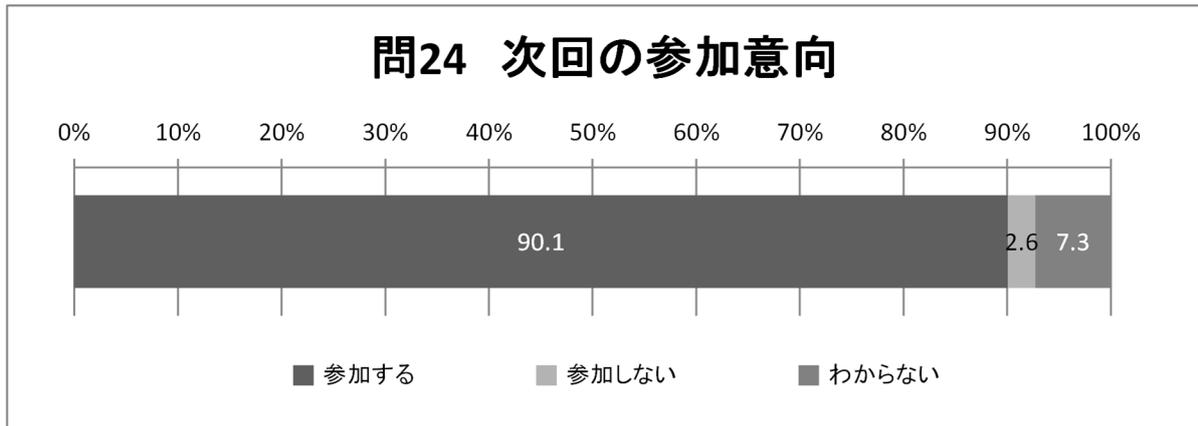
また、他の除雪を行った箇所について尋ねたところ、「車庫前・駐車スペース」の回答の割合が最も高く53.8%、次いで「玄関の階段(46.2%)」、「家の前の歩道・車道(38.5%)」、「ガス・灯油タンクのストーブ排気口の周り」「物置のまわり」(いずれも23.1%)であった。



3. 次回以降の福祉除雪について

(1) 次回の参加【問24】

「参加する」が90.1%と、約9割を占めている。



	参加する	参加しない	わからない	全体
R6	90.1%	2.6%	7.3%	100.0%
R5	85.7%	0.6%	13.6%	100.0%

「除雪範囲（敷地内通路）」（問11）別にみると、いずれの項目も「参加する」の割合が最も高かった。

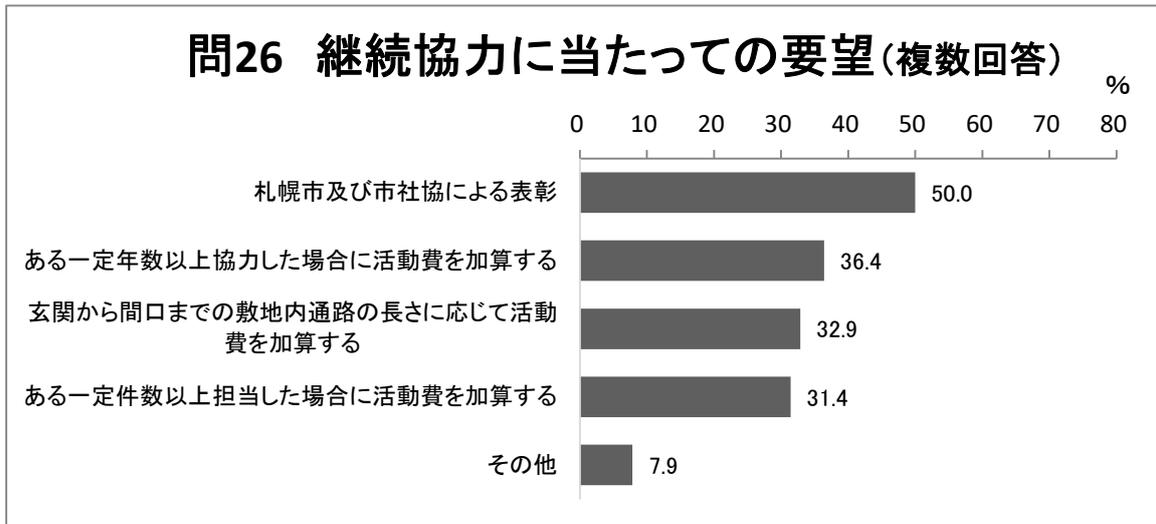
	参加する	参加しない	分からない
1m未満	100.0%	0.0%	0.0%
1m以上 5m未満	87.1%	1.6%	11.3%
5m以上 10m未満	92.5%	3.8%	3.8%
10m以上 20m未満	92.6%	0.0%	7.4%
20m以上 30m未満	75.0%	25.0%	0.0%
30m以上	100.0%	0.0%	0.0%

「除雪作業が大変である理由」（問16）別にみると、次回も参加の意向がある方の中では「雪を片付ける場所が足りない（91.3%）」、「昼までに終わらせなければならない（93.3%）」、「利用世帯に声かけをしなければならない（100.0%）」などが多く挙げられた。

	参加する	参加しない	分からない	全体
除雪作業による身体への負担が大きかった	75.0%	3.1%	21.9%	100.0%
雪を片付ける場所が足りない	91.3%	2.2%	6.5%	100.0%
昼までに終わらせなければならない	93.3%	6.7%	0.0%	100.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	66.7%	22.2%	11.1%	100.0%
利用世帯に声かけをしなければならない	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
シーズン通しての活動である	75.0%	7.1%	17.9%	100.0%
その他	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%

(2) 継続協力にあたっての条件等【問26】

「札幌市及び市社協による表彰」の回答の割合が50.0%と最も高く、次いで「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する」が36.4%であった。

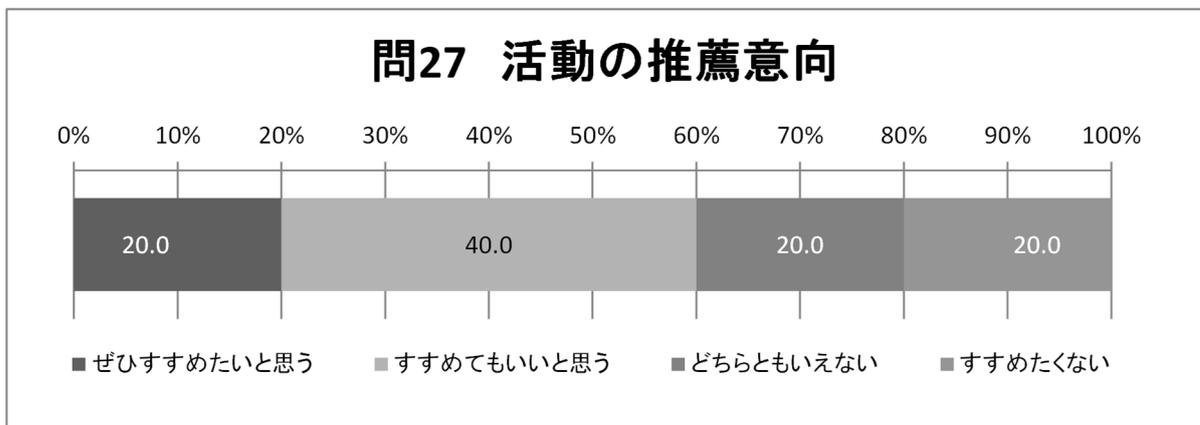


「担当世帯数」(問8)別にみると、「16～20世帯」「26～30世帯」「51世帯以上」では「ある一定件数以上担当した場合に活動費を加算する(それぞれ100.0%、100.0%、75.0%)」、「6～10世帯」「21～25世帯」「51世帯以上」では「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する(それぞれ53.3%、75.0%、75.0%)」の割合が最も高かった。

	ある一定件数以上担当した場合に活動費を加算する	ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する	玄関から間口までの通路の長さに応じて活動費を加算する	札幌市及び市社協等による企業PR	その他
5世帯以下	25.0%	30.0%	32.0%	52.0%	10.0%
6～10世帯	46.7%	53.3%	26.7%	46.7%	6.7%
11～15世帯	33.3%	44.4%	55.6%	55.6%	0.0%
16～20世帯	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
21～25世帯	25.0%	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%
26～30世帯	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
31～50世帯	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%
51世帯以上	75.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%

(3) 活動の推薦意向【問27】

福祉除雪の活動を他の企業・団体に「ぜひすすめたいと思う」「すすめてもいいと思う」の割合の合計は60.0%、「どちらともいえない」が20.0%であった。



(4) 福祉除雪についての意見（自由記入）【問28】

主な意見抜粋

回答者数合計 37件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	ここ何年分札幌市の入札案件で企業評価に福祉除雪で加点になっていますが、加点が欲しくて1軒だけの企業がけっこうあると聞いています。1軒でも20軒でも同じ点数なので、これを改善してはどうかと思います。企業協力の場合は何軒以上お願いしますと。担当した年数でも少し差を付ける必要があるのでは？と思っています。	21
	除雪作業したのに、福祉課から「やっていない」とクレームが入り、電話口では状況がわからないため謝罪をしたが、事実確認したところ、新雪除雪に合わせて行っているため、朝方に降った雪には対応はできません。今後市の対応がこのような感じでしたら、福祉除雪はすべてお断りをさせていただきます。	
	札幌市からのお礼状の送付は、紙と資源の無駄なのでその分を連絡事に回すとよいと思う。職員を増やすとか。当社はこの活動を15年以上継続しているので、活動歴の長い個人企業団体は表彰があってもよいと思う。表彰だと活動費も掛からないし、企業としてもありがたい。	
	今回担当したエリアで道路が非常に狭い場合や勾配がきつい所のお宅を作業する際に、深夜か早朝でしか車や人通りに気を配る時間帯がなく、本業と兼業で行うと身体への負担が大きいです（除雪作業の負担ではないです）。ガソリン代の高騰により当初の予定よりコストが掛かったため、金額と作業が見合わないとなりました。またいつ除雪作業があるか不透明なため、休みが取れない。	
	作業を行っている間は必ず路上駐車をすることになり、とても気が気でない。できれば「福祉除雪作業を行っています」等、目立つステッカー等を作成していただき、車両に貼って周知しご理解いただけるよう工夫してほしい。いつも同じ車で行くとも限らないので、着脱可能なマグネット式がありがたいです。	
利用世帯の理解不足	朝7:30より遅かった時に、朝のゴミ出しの前に来て欲しいと言われた。ルールでは午前中には来る予定なので、と理解を求めているが、時々また同じことを電話で言われる。	14
	降雪量により除雪時間に影響があるため、福祉除雪世帯への周知をお願いします。 道路の積雪除雪時は出動ですが、路面整正時の除雪は対象外というのを周知してほしい。こちらは路面整正については何も情報が入らないので。	
やりがい・達成感	地域の福祉事業に参加させていただき、利用者様よりあたたかい言葉をいただくとてもやりがいを感じます。ただ今年度は前年度に比べて「今日は来てくれないのか」というお問合せが多かったように思いました。 今後も引き続き社会貢献として行いたいと考えています。	4
その他	法人で除雪していますが、担当世帯が今年は7世帯でした。例年に比べてかなり減っています。ましてや昨年度担当した2件並びの1件は中学生みたいな方が歩いて除雪をしに来ていました。来年はお断りします。	4
	除雪について各家庭の中で必要としている人が居るうちは行うことがよいと思います。私の場合は体調が悪くしたので今回は最後となります。本当にお世話になりました。当団体は私一人です。また、移転しますのでお世話になりました。	